(日曜金

に到着し約八時間停車の後滿は十一日午後三時四十分ハイー

任邦人六十八名 車を解頭に迎へいづれも無事であた 在智民の代表は欣然として我劇問 正時四十分ハイ 秩序を保つに至った、紛争當時委 二時四十分ハイ 秩序を保つに至った、紛争當時委 二時四十分、

人で解は固められ電信、電話は十

つたことを喜び合った

甲一名の死職者を出さなかつ。

七日の撤済十

と語った、内畔人二十有餘名も別と語った、内畔人二十有餘名も別と語った。中西民會長其の他娘子取と 共に祝福し在街民一同の安着を祝 一大人々の孤上には限いて萬窟を三 大人々の孤上には限いて萬窟を三 大人々の孤上には限いて萬窟を三 大人々の孤上には限いて萬窟を三 大人々の孤上には限いて萬窟を三 大人々の孤上には限いて第一次と記された

小學校の入學屆

二月中所轄學校宛に

海拉爾城內全滅

損害約二千萬圓

十一日海拉爾にて 秋山特派員

少からぬ物資を假設した ・・・市内は露軍の撤退後不健で支 が東支後業員を始めまなる
のロシア を暗層選し練然たる赤面のロシア

反共產主義宣傳

哈市支那當局が勞農側の

赤化運動防止に苦心

ったことは想像に離くない。 場合が場合だけに、重要意義のあ

然のことだといふべし。

政治季節に入るのだから、當

大翻小觀

東鐵西部線慰問記

【ロンドン十五日發電】マクド

十五日記者團との

は今夜の夜行列車で南京に向った 【上海十五日發電】 電光代理公使

廃の採るべき方針につき 慶公を訪問したが爲めに今

英首相方針を表明

軍縮會議通信

長崎線が確定

間、アメリカ經由東京間(有線) 上海長崎間、浦麗長崎間(有線) 三十分內外で最も確實味を帶び殊 三十分內外で最も確實味を帶び殊

中さる」と期待されるが、軽本感に浦鹽總由長崎、ロンドン間最も

層力強くな

きのふ西園寺公訪問に際し

脳氏を

政情を詳細に説明

一國政府の態度

職く處素より豫斷を許さぬが既に 物の發動に俟つ處であるが政機の で、大地に微斷だも與へず休舎明け で、大地に微斷だも與へず休舎明け で、大地に微斷だも與へず休舎明け

至當と考へる、因つて或は之が奏上は一度は其信任を國民に問ふを

徴収に

第二次整理など

斷じて無い

鐵道部長、工場長等語る満鐵大連工場整理に闘し

一交渉経過並び

間一回線を補給すると共に長崎では之が転線緩和と速報を

【ロンドン十五日發電】日英惠門 日英專門委員 日支懸案解決

口火を切るかも知れない

南京行の重光代理公使談

手配中である。 なほ右倉殿は十七日午後三時将英 なほ右倉殿は十七日午後三時将英

中村大佐

開後際散職行の決意は今回の職公手は既に明瞭であり首相の職會再手は既に明瞭であり首相の職會再

政府の方針 説間に依つて一層力騒くなったも

『東京十六日發電』院公前間の職 ・ 然し將來の事に就ては能り たが其断行に就いて会が喜ばれ で居られるかどうかは會談の内 で居られるかどうかは會談の内 で居られるかとうかは會談の内 で居られるかとうかは會談の内 で居られるかとうかは會談の内 で居られるかとうかは會談の内 で居られるかとうかは會談の内 で居られるかとうかは會談の内 で居られるかとうかは會談の内 何等變更しない 國公訪問歸途濱口首相談

りの事を話したが小橋前文相間 題の如き個人の事に就ては活されては相談はしなかつた、軍締問題に就ても大さいで將來の事に就ては相談はしなかつた、政 展頭清問題も話題に上つたが之に誰しも認める問題である老公 に會つた為めに特に今後政府の に會つた為めに特に今後政府の 商工場員に對し船田工場長から十 六日第二次整理など網数に行はな いから何等不安の念を趣さず就業 全國民衆黨

結黨大會

黨首に高野氏 午後一時より大連ヤマトホテルに たて消費組合間壁座談會を (商職を大きなく) おります ころ (本の代表出離) 開くべく十 市中商人の代表出離) 開くべく十 市中商人の代表出離) 開くべく十 市中商人の代表出離と (本の) に 『ハルビン特電十五日發』 西部線 五日午前八時、八木總領事、取司 五日午前八時、八木總領事、取司 諸線版務隊長その他多數の出恋へ 月、週刊雑誌劇體六女會は十九日 消組問題座談會

目下趙道尹と折衝中

呼倫貝爾都統令息決心を語る

沿を行ふ

の壓迫を斥け

滿鐵地方部 業務檢閱

廿一日より開始

電信に対技者合松之正電信に対技者合松之正電信等残有接着搬定試験は十九日大連、旅順、奉天、長春の各局で、及二十日には振順及安東縣で、及二十日には振順及安東縣で幾信、タイプライター受信並に鍵紙流の外必要に應じ外國語をも

の内容は左の如きものである 本庶務(文書、人事、社宅、社會、本地方(土地、建物、公費、社 ・ 本地方(土地、建物、公費、 施設) 本物業(商工、農務) 本經 理(工事、事業費、營業收支、 金銭出約) 貌子寫郵便局移轉

▲字佐美寛森氏(滿線 々道部長) 本加藤明氏(哈爾賓商工會議所會 産中の講中七日朝急行にて翻社 のはいたける線道警護會に出 のはいたける線道警護會に出 のはいたける線道警護會に出

▲小林清一郎氏(牆)同上

證保對絕 特がパリカン

女の にキカレヌ

東京芝、芝浦ニノナ

合理化

十六人、十四人乘

野族 (北平十五日愛電) 監論山氏は従いても援助を打切った、遺は山西の間係悪化を語るものの間係悪化を語るものの間係悪化を語るものの間係悪化を語るものの間の関係悪化を語るものの間の関係悪化を語るものの間の関係悪化を語るものの間の関係悪化を語るものの間の関係悪化を語るものの間の関係悪化を語るものの間の関係悪化を語るものの間の関係悪化を語るものの間の関係悪化を語るものの間の関係悪化を語るものの間の関係悪化を語るものの間の関係悪化を語るもの 西部線慰問團 響沃楽式とは響沃案と云よー種の ・は響沃楽式和作法を行つて居る ・ している。 ・ はでは、 ・ はでは、 ・ では、 ・ で

金千百七拾圓 新期 五日間

巡査養成講義錄

決して蒙古族に野印象を興へなかが自治を要求。東支鐵道問題は、

も目聴の間にの

雨か風か、二十一日の議會再開

私の全性

(十七日) 南西の風晴一時風 大連零下 二六 零下 六、六 旅順同 ○四 同 二六、二 響口同 三三 同 二四、一 一 二六、三 「一 二六、三 「一 二六、三 「一 二六、三 「一 二六、三 「一 二六、三 「一 二、二」

手順は見ごの所管整校院に二月一一上入野不可能になるやも知れずと 月一日までの出生者に限り、入野 し期限に悪るれば駆破職成の都合 は大正十二年四月二日より翌年四 本文は抄本を悉へ屈出づべく、若 本年四月一日に入壁する小學兒館 日から同二十日までの間に戸郷謄

微笑を浮べ

名のモダン娘が廣間に並ぶ、そし

の強要、臨下の外に待ちながら、 とジネスでこれから先は「三銭」

があって離者をして感然たらし

他の明が上海の街上に

おけたビールの機な身間な なけたビールの機な身間な

した難物に過ぎないが、一度夜のした難物に過ぎないが、一度夜の

のインサーデである、トルコ

た定價がない事と「より」の二字がこの美人風呂の魅力を充分背負がこの主力を充分背負がこので立つてある、この流場は何時しい、要するに続の掛つた風呂で美久の三助に背中を強されながらしい、要するに続の掛つた風呂で

COCHOCHOTOTOTO

三三一〇二 一一〇一四〇

4309

沙河19433 夜間用3628

成三流どころの支那旅社の廊下を しつこくつき驟はれるといふ、二

SH

A

しさか、震撃を帯びた物暖で七八一で肌の長い老婆の指が延び、ベル

るらしい、無味悪い鍋きを見せていてお客の心の彫きを完全に成じ

らっかり飛び込めない

とが出來る李氏寓、黄氏寓なんてる滑稽なカルケチュアーを見ることが出來る李氏寓、黄氏寓なんて

の職とやつたところは暫に支那ら

大阪の大阪の大阪の 外人等によって占領されてし

大規模な物

宣順されてゐる。マッサーデが五 に既されてゐる。マッサーデが五

台的

那より、浴場が五弗よりと一定し 官僚されてゐる。マッサーデが五

借切の名札が 支那旅館の

第三條以下は 其職を遂行

0

小僧さんの書入れ日

けふは藪入り

(本天特電十五日数) 松が置れぬ 関係もあらうが戦客に動しては枕。 無になの列車内枕ボーイは、十四 中率天補鎖社試展樂部で閉かれた 関係を開放して検験を指、暇があれば を押愛して迷惑を指、暇があれば で開かれた。 で開かれた。 で開かれた。

近く廢止か

コの蒸風呂

振つた闇に咲く女の組合規則『あちら』の美人のマッサージ

を関を出領してあるのは正に前述だ、なほ最も上額らしい愉快な耐が支那ではこれら離のを裏書してあるのを裏書してあるのを、とっては、昨年の十二月の、とっては、一般のでは、

する上に是非心得で置かればなら 「同人死亡の際は同人の最も身近 きものに飛躍す」とアッサリ逃げ で手を打つてゐる、野郷が一番師の の手を打つてゐる、野郷が一番師の でを漉り安いところはフランスタ

援の大連女子卓球大會はいよく恒例の満洲卓珠協會主催、本社後

白熟職を演ずるとと想像される猛練習を開始して居るから常日は

交通整理の萬

全を期

違反行為を取締る

街頭の殺傷事件に頭痛の大連署が

關東廳へ專務巡査の増員を請願

山東方面結氷で

ぼる支那舢舨や

不可能の たとひ刑事隊の新設

高松宮に扈從 1 黒田氏の光榮 ロッ

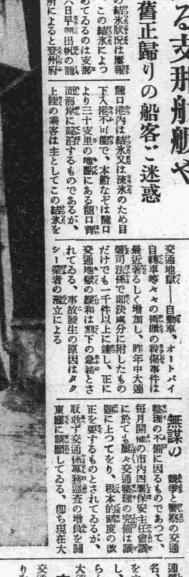
『東京十六日發電』宮内省文書談れた、氏は來る四月二十一日贈島 しては全く鞭裕の浅榮である、同しては全く鞭裕の浅榮である、同じは天正十年の東京外語英文科出

馬縣前艦市瓢屋で露披稼業中、最 が西通四大番地東京カフェー女給 が西通四大番地東京カフェー女給 詐欺の訴べ 那事政策上大なる不便を驚してる これがため捜査上不利不便のある ことは住々であつて、関東原保安 であつて、関東原保安 であつて、関東原保安 であつて、関東原保安 関る手数 と日子を殴

関東 職行数係も刑事職の意向を有して 動の下に近く管現の意向を有して 動の下に近く管現の意向を有して 対の下に近く管現の意向を有して

不可能の 場合といへど指 であるらしく、賞現の曉は刑事政 であるらしく、賞現の曉は刑事政 が概だけは大連饗に移管する方針

山東、龍口方面の結果が以は慶報の如くであるが、この結果によっての如くであるが、この結果によっての如くであるが、この結果によっての如くであるが、この結果によっての如くであるが、この結果によっての如くであるが、この結果によって、



連響に於ける交通専務員は巡

名、巡捕廿一名であるのを、巡査 し、違反行為に難しては鰕頂取締 し、違反行為に難しては鰕頂取締

ける、小

競するものだと

連鎖商店街

佐竹氏こ關係を訊問か 橋前文相 教を見た模様であるから近く何等数を見た模様であるから近く何等 續々開業

召喚取調べらる

事の手選れで未だ全部開店の選び 事の手選れで未だ全部開店の選びであるが同事終野の知言は連日構員の選び であるが同事終所では関東側が道路工 であるが同事終所では関東側が道路工 であるが同事終所では関東側が道路工 であるが同事終所では関東側が道路工 を選する響で未開業の百十店 は避くも三月中には関東側が道路工 であるが同事終所では四月までに

「東京十六日發電」小棚前文相は 十六日も午前十時すぎ東京地方裁 判所豫都廷に出頭兩角豫新判事の 性格三晋氏との関係につき説問 されてゐる複線である

來るであらうと

飛行帽の二人

八組

先づ

鳴戸の杯から

初春の慶びは

雑貨商に押入る

芳醇の二重奏

F

ゆふべ恵比須町に現はれる

沙河口の强盗と同犯人か

吉野町プラチナ自動車裏

第1111110番

かの方法によって具體的になって

る」 春季大祭に間に合はすべく出

御

半五七二一

○各藥店、 毛生劑として日本政府の御認可濟 化粧品店、三越…販賣◇ 大瓶金貳圓 エフ・テッナー氏創製 ル香油 小瓶金壹圓貳拾錢

話

公 天 順

が、舢板は足許につけこんで一人一を厳じてゐる り舢板によつて運ばれるのである。多く一般美客は非常な不便と迷惑が、舢板は足許につけこんで一人一を厳じてゐる

關東廳

指紋係を

、連署に

移管か

巧妙な犯罪手段に頭を惱まして

司法警察に一劃期

八年目に捕はる

小崗子署のお手柄

ふので森村から詐欺の告訴を提出 て詐欺罪は構成せぬものらしい昨年八月大連に逃走して來たとい なる靉妙と客との金銭取号であつ食であつた森村譽司といふ男から され、十五日大連署新要繁部補の

美女子卓球大會

展居住の劉仁殿の長女祭子(當時 の職)を同様かつさらつて名梅館 小洋十園にて賣り乗したもので劉 心流は悪事需見と共に風を喰つて で変を悩まして居つたが終入 年振りに小崎子罴に逮捕されたも

ので同葉では見讀き餘眠ある見込

二十六日、満洲卓球協會主催で

白熱戦を豫想さる

幼兒誘拐魔 滿日愛 新表 中特選映畫 讀者優待

0

會

集募徒生

學期,入學案內○

百一月二

H

月十三日官報會照

東京市本郷元

町

文部大臣指定卒業後無試驗開業

丁齒科耶學校

城町大日活と折衝の結果、

階下一般七十錢 讀者四十銭 計上一般九十錢 讀者五十錢 一般九十錢 讀者五十錢 一人一週間

置者の特線開発を行ふことになつた。本紙刷込みの職者祭持為者は、

日

保安主任會職に提出される領様

組験人山東生れ郷吉明は仕上工と であるが、十五日午後三時半伊東 であるが、十五日午後三時半伊東 埠頭で作業中 様 してエレベーターを扱いて 開の穴棚作業中昇降器内で働いて あた瓦斯職人が趙の屋根に居るの が不明だつたので過つて運動したが不明だつたので過つて運動したが、水上器では直ち を粉碎して即死、水上器では直ち であると

華工即死す

鬼

在滿の天理教信者が

勢ぞろひ春季大祭へ参列

約二百名が十八日に海路出發

タイハンスト

ブ景品抽籤

御待乗の 電話四OII三番 大連井町製肉所

に御奪れ下さい 常 盤 橋

煙洋 草酒 盤 店 橋

デワー

六六ス

下さいの常籤帯號は當店頭に掲示して御座いますから御序の節御立寄りの常籤帯號は當店頭に掲示して御座いますから御序の節御立寄りの常籤帯跳は當店頭に掲示して御座いますから御序の節御立寄り

籤

番

號

發表

大連市松林町四六 勞働保護會

慶子用化環部新設 弊會は曩に維持費の一助として御理解ある皆 構に御願いたし各御家庭より生ずる不用品の 構に御願いたし各御家庭より生ずる不用品の 同下さいましたある篤志家の御後援の許に慶 同下さいましたある篤志家の御後援の許に慶 明用を勤めさせて頂きたいと存じます故何卒 御用を勤めさせて頂きたいと存じます故何卒 當

(発行所) 東京・瀬ノ川町西ケ原一〇七六 験を加い事 官費

十二、三歳迄で)二、三名を求む

簡便--確實--至廉 に現品を御渡し致します直ぐ御申込下さい第一囘拂込みと同時 電話は伊勢町山本運動具店五九七八番へ願ひます。大連市若松町七一番地

月賦は高い

アイシャツ月賦大廉賣を開始致ました平素の御愛顧に酬ゆべく自家製 ました『不倒子』は『準備完成』 創業二ケ年鳴りを鎭めて發展して居り

の陋習打破

荒川 20 あれば!!

北 中で何時もなぎ

洲發賣元 B 本 賣 藥

會

社

B

マニュース

0

平

安

異

(227)

た「ザ、ハイロード

多

太

神樂囃子(五)

通り抜けた時には、その金兵衛 ・ 本天衛が追ひすがつて來て、師 ・ かぶさるやうにしなが、師館 ・ かぶさるやうにしなが、師館

ると女は云ッた。

一つねです。

とたどの二騎になつてるた。

「むづかしさうだ。むづかしいだ

おつれは師館の幣から鑑通しを おつれは師館の幣から鑑通しを 唇が膨いたが、何を云はらとして あるのか、聞きとれなかつと。

おつれは節軸の心たい類に想づ

将揮してある判官の小串九郎範 お揮してある判官の小串九郎範

軍兵が、捕物道具飛道具で待つて西の源院の辻にも、検非選便の 茂左衛門が、一點一 扱けた徒歩侍の学数がその記載をなって、一気 して頂無れた



適應症 ・ 特出血(は) ・ 特出血(は) ・ 特出血(は) ・ 機変(ま) ・ 放後に於け ・ 放後に於け

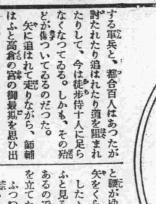
りあに店薬各

連供の捕吏の一職があてわつとい 自らを職るやうな歪んだ機笑が 目別に群心で直滑えた。 思は、三條京確を六角堂の方へ 思は、三條京確を六角堂の方へ

突 ・臓を抜かれて、御液命になさせ縫ふ途中、討手に追はれ、流させ縫ふ途中、討手に追はれ、流



前門正場市 町濃信 番三四三八話電



を立てた。 を立てた。

スであつた。

で上映回数一千に上つた。 で上映画数一千に上つた。

池田小兒科門路

電話六三六五

蕃郎院

雙推士炮學醫林楷 **亚洲土壤學暨澳片**

巴里の名物として有名な「ムーランルージュ」は窓に時世に抗し続く今迄のレヴューな窓に時世に抗し続な加へトーキー常設館とする事になり其の最初の上映べ鑑はフォックス社のムーピートン、フオリー

內科專門

● 大遞は磷鮮第一封切の 大連市愛宕町(天金前) 櫻井內科醫院



原子、松薫笑子の

蘭佛西料理 カフエー 翠香

、說達町四丁目 泛四四六三番

れ 真底のう

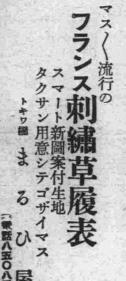
味が出ます



むしせ産安に時娩分し護保を兒胎體母

店商助卯田和 町修道医大 元賣發

用沙尔



部 ・ 小 毒 器

貴金屬機構

大村洋行







-

oty

SAUCE

が何處を怪我してゐるのか、感 るが何處を怪我してゐるのか、感 るが何處を怪我してゐるのか、感 るが何處を怪我してゐるのか、感 覧がなかった。 職と覧しきものは隣のやらに退車上に正體を現はすと共に。山

しき軍兵が、何處からともなく現はれて、あからさまに師轄の牛車を攻撃し始めたのだつた。清潔・ した場合は、湿臓に緩れても対象 した場合は、湿臓に緩れてる機を した場合は、湿臓に緩れてる機を したけってしまふといふ寸法があったに遂ひない。 衛の卒みる伏勢と、茂左衛門統率 「大。茂左衛門の馬が走つた。茂左 衛門は、急を聞いて配けつけた。 一般に参いる。 一般に表する。 一般に表。 一般に表。 一般に表。 たが、立代つて、清盛の手勢と覧いて、何處ともなく去つてしまつ 八條第へ向った筈です。青礬があ「五平太の組と、甚十郎の組が西 るかも知れません」 「とても近づけないだらう」

> あたしのし 「お前さんは、

突拍子もない笑ひ

空中世界一周

あたしの男だよい

なが、金兵衛が『あッ』といつ り早過ぎた。失敗だつたよ」 り早過ぎた。失敗だつたよ」 師鹹が呼びかけた時、ゆら~ 兵衛の胸板に矢だ、 衛の胸板に矢だ、羽根がぶらぶ馬が属風立ちになつてゐる。金

を板城に響かした。 辭表を提出
夢表を提出

くつて力こぶを入れて居る▲演響の表看板に字ばかり書いて書の ない時は十鏡興行らしい。

十六日の階下五十銭

新香…簡見豐 河合菊三郎、 拾

松林清三郎主演

出たりや!出たり!痛快篇 十七日より大公開 剣豪薬山純之輔主演 「原作…八尋不二」監督…丘虹二 高田の馬 要素語助演

明石祿郎猛演

●場内整理費十錢戴きます

十三日より三日間限

0

中島寶三監督三監督

千岡片の評好大 演主役二被惠 篇二第 **獄地染愛**劇代時

開公日六十々堂

爭戰

受験準備

をした。 動型も環境 が存せる

現出ーキートの初最ドイロのお乗ち 對・響音・作特トンウマラバ 雷映撃競全・奏件・話百 迎数大険危。ドイロー

全星

そばや用丼類

mmm.

火鉢各種荷揃

利

食料品部

債券賣買相場

鮎ノ春日漬

蛤時雨煮

カ ッ

チ願辛

アミ佃煮

カ鹽辛

せ

佃煮







本年度産大豆は南流、北端共に 大月九月に雨量が多く日間時が緩 地方の豆に見立つて多かつた。 地方の豆に見立つて多かつた。 南大豆は土砂の混入が多く、特に安達 なかったが、虫食ひ映路が例年よ

・ 三十萬二十十四萬噸 二十四萬噸

北滿大豆事情

出版。

選雜核経

狀況

出廻りは増加

本船は適強を受けんとした を受け此の額問題を整地に設在受けんとした を受け此の額問題の發生を見ること を受け此の額問題の發生を見ること を受け此の額問題の發生を見ること を受け此の額に於て受けんとした を受け此の額に於て受けんとした を受け此の額に於て受けんとした を受け此の額に於て受けんとした を受け此の額に於て受けんとした を受け此の額となりる當港の如き今 りたる如き又日本内地に置籍し りたる如き又日本内地に置籍し りたる如き双目本内地に置籍し りたる如き双目本内地に置籍し を受けんとしたる海難の のに於て受けんとした では連旦政器及市役所の何れに をでは、に をでは、 をでして常港碇 をでは、 をで

لح

ぬ方針であると

况

産

大連商議から陳情

東抗の南洋代附約三百萬圓は此の 下げる方法を採る複様である。な は現在豪観の代理代となつてある。な 地類更振査金を加へ金利コストを

一月中

朝鮮銀行率天支店調査による昨年 十二月中の率天金融経済狀況は左 の通りである 經濟狀況奉天の金融

程布一牛頭穴穴 へ、玉 へ、30 人大の 本 大人で 東京 本 30 本 30 大人で 東京 本 30 大人で 50 大人で 東京 本 30 大人で 50 大人で

同偏桃 151°00 150°00 1 下旬

日間大豆 四部の 四部の 日間 下旬 日間 大豆 四部の 日本 1 120 日 120 日

日米小賣値 大連米敷同製組合の一月十五 在の日米小賣値標準は左の通 ある(一叭は四十三瓩入、一日 三十瓩入)

日本貨幣を歡迎 銀貨暴落に弱つた

排日の本場で

一等なほぼ既然 なほぼ既然 放査は朝野総 合 検査品

大豆(袋込六七〇〇六七一〇六七三〇谷) 大豆(袋込六七〇〇六七一〇六七一〇十五豆(袋物六六五〇六六五〇十五豆) 村 二二五五二二六〇日本高 一萬五千枚日本高 一萬五千枚日本高 一萬五千枚日本高 一八八五日本高 一千千箱 第五千枚 四二三六〇 四二三〇 A DILLIO

本法定準備金二、○○本法定準備金二、九○○本書館付付の○○本株主配當金(一、五○○本書館付の○○本書館では、五○○本金業員を表示。

「一、四○九

要 學校 三层

開設に

築の間

為替相場(武年)

四六四四六四两〇四六三兩八四六三兩八

今朝大阪諸保はボンヤリ新東

電 話 二一 三二一 番地大連市西公園町一三一番地

翻麦塘蒜剂完砂点

海の瀬店にあり 中央公園永樂門停留所前 日本賣藥株式會於

満蒙投資者を 主に渡滿實業團 關西方面からも参加

近く人選を終らん た
超機金を一株につき三回に引下げ

左、
京監管海官廳の如何を開はず本邦船舶の海難認證權を主要寄港地所在官憲に附與又は委任せられ度きこと

「所屬管海官廳の如何を開はず本邦船舶の船員雇入雇止の手續受理權を主要寄港地所在官憲に対與又は委任せられ度きこと。

延吉縣政府が日貨で徴稅

燃料動力・石炭界の展望

恒郎 ○ 場機ダブルローブ、スキッブはそ で東洋一の際巧無比なる石炭捲き で東洋一の際巧無比なる石炭捲き

撫順炭礦長 山 西

新生面が開拓され又されざるべ あらざるものと信じて疑はない ものである。 生面が開拓され又されざるべ からざるものと信じて疑はない ものである。 生面が開拓され又されざるべ からがのさるに 性の中心概念を體した或部分の 性の中心概念を體した或部分の 性に外ならないものではない がらうか。さるにても、年八百 が関皮が関防上、産業立國 作用方法の研究が関防上、産業立國 作用方法の研究が関防上、産業立國 作用方法の研究が関防上、企業立國 をは自明の理である(終り) きは自明の理である(終り)

◇…同間なに在が呼い ※しく議論に在が呼い のは無意味だそれに何 のは無意味だそれに何 のは無意味がそれに何

は 満隣壁大豆の一部には、最大関度は 満隣壁大豆の一部には、最大関度は 満隣壁大豆の一部には、最大関度は 満隣壁大豆の一部には、最大関度 以上の水分を含有するものがある か、之れは低地のものを水に浸した よめであつて別に取り立てより が、これは低地のものを水に浸した よめであつて別に取り立てより か、一番業者は語つてゐた。

大豆の品質

◆:無訟職の良い同君の るから相當理由のない べないが再度の反繁意 である。

奥地市况

物(乙部) 物(乙部)

健

樂しい遊び場所です。永滯在の御客様にも

經田安

良い醤油は・・・・・

大月月前一節前二節 月月月11100 月月月11100 月月11200 日月月11200 日月月11200 日月11200 日日日11200 日日11200 日日1

純良無比の 人参ヱキス

先中、 東京期 東京期米 「元元教育前場」 「元元教育前場」

三人三〇

胂戸豆粕

支店所在地

常家屯、長春、吉林、撫順、本漢湖、安東、興

朝各煖石 種房 帰日 川 用 製

突が式が

用製

ッ 料丰

在庫豊富多少に拘らず御用命師

電話

上準之助氏著 2010 送料拾錢 中型 經濟的大轉換期は遂に來る。陰惨十有三年、

熱狂的歡迎拾版

著者はこの歴史的大事を遂行するに當り、

町屋鉗南橋京京東 行發社本日之業實

として全國民に贈る。

愛國愛世の眞情を吐露し、

この一書を記念

妖雲は晴れ、

白日始めて輝く。

印刷 **小**東亞印刷輸出大連支店 オフセツ 活版·石版

醫富 3 安 門專.兒幼.兒乳 #

振替(大連)三三〇番電話(代表)四二二番

程中通車電町濃信市連大番九五八四話電

(日年金)

資本金

壹千 萬

大連市近江町

話

大儿三九大四大

格安中古品在庫

ブリムス・共他各種 クライスラー・デソ

がないかります。 何でも御利用下さいます。 のマップリストビュー

戲福昌公司自動車部販賣所

泰 稻

抵無

福助足缘

腹る前にも必ず 歯を美しくする為めに

ライオン協
磨を お使ひ下さい。

『夜聲る熊』とに、お使ひになるのが最も良い方法で御座います。 理想的厳緊として定評あるライオン酸語を『頼起きた時』と

大大・國際上の必要を考慮に入れ、 一でで、大大・國際上の必要を考慮に入れ、 一でで、大大・國際上の必要を考慮に入れ、 一でで、大大・國際上の必要を考慮に入れ、 一でで、大大・國際上の必要を考慮に入れ、 一でで、大大・國際上の必要を考慮に入れ、 一でで、大大・國際上の必要を考慮に入れ、 一でで、大大・國際上の必要を考慮に入れ、 一でで、大大・國際上の必要を考慮に入れ、 一でで、大大・國際上の必要を考慮に入れ、 一方針の下に、一次では合理。 一方針の下に、一次では合理。 一方針の下に、一次では合理。 一方針の下に、一次では合理。 一方針の下に、一次では合理。 一方針の下に、一次では合理。 一方針の下に、一次では合理。 一方針の下に、一次では合理。 一方針の下に、一次では合理。 一方針の下に、一次では一方が、 一方針の下に、一次では一方が、 一方針の下に、一次では一方が、 一方針の下に、一次では一方が、 一方針の下に、一次では一方が、 一方が、 一方が

大日午後一時より淡明三丁目にては十六日午後一時より淡明三丁目にては十六日午後一時より淡明三丁目にては十六日午後一時より淡明三丁目にては十六日午後一時より淡明に放いて町大地変で開き、歴上波速町土地壁物に放って盛んに表観される所である可き脈度に聞いて耐鬱をからに表観される際である。

たてたものだ▲すると副總裁は「 たてたものだ▲すると副總裁は「 を見下つて副總裁に二度目の題を

一 五人物 三四名 中中中〇中中〇〇

並に關稅同盟の利害

日支經濟提携の

から政界腐敗の醜狀を攀げて海化。

原の同成、同和、交友の融合版では十六日午後二時より昭和會館には十六日午後二時より昭和會館には十六日午後二時より昭和會館には十六日午後二時より昭和會館に開を求め続相より

政府攻撃を策す

東三省に二十

べる三月に實施さる

職相と問答

具族院の政友系議員

| 「関京十六日發電」特働組合法案 | 見書を送附し來るもの毎日數通に | 「関京十六日發電」特働組合法案 | 見書を送附し來るもの毎日數通に | 「関係に於いて帳頭部器中 | 上つて居るが、社會政策を其の重 | 「関係に於いて帳頭部器中 | 上つて居るが、社會政策を其の重 | 「関係に於いて帳頭部器中 | 上つて居るが、社會政策を其の重 | 「関係に於いて帳頭部器中 | 上ので居るが、社會政策を其の重

一前首相は、産業立國を置き、 勞働組合法案は

で對議會策最後の打合

ス合語下打合せのため莫徳駅八は 大台語で打合せのため莫徳駅八は 大七日赴奉し南京に向ふが、南京 のと して図鑑の冒通告して來た

潑兵優遇審

釐金その他の内地税

撤廢

は同時に決定を見るべき三大臣の 一族的は解散を見越して其の内容に が表現を見越して其の内容に が表現を見越して其の内容に 協定否認の眞意

議會に提出

反對論を一蹴して

豫備協定に譲步した點を 取戻す 爲の 駈引か

附を以て吉田公使に對し跡やあり『東京十六日發電』左の如く本日 吉田公使任命 っ大使

高女補習科生の募集

中央政治會議で決定す
・ 大事十一、 「監督相場の恢復と貿易關係を、 」、 、 監督相場の恢復と貿易關係を、 」、 、 監督相場の恢復と貿易關係を、 、 南洋ゴムの程度 と 、 一五、 銀際貨借の将來 と、 國際貨借の将來 と、 國際貨借の将來 と、 國際貨借の将來 と、 國際貨借の将來 と、 國際貨借の将來 と、 國際貨借の将來 と、 国際資産の影響 と、 一次 南洋ゴムの程度

南京到着

閣氏近く歸晋

『北半十五日發電』 閻縁山氏は唐 生智問題が一切解決したので十五 日祗州出發太原に置ること、なつ

視學官の増員と 百二十四萬圓

免機器を者機器し不能に復した複点での免機器は百二十四萬六千三店での免機器は百二十四萬六千三店が代表を表するが十六日は発どの場合であるが十六日は発どの場合であるが十六日は発どの場合であるが、1000円の 1000円の 1000

つた 春の入學試験期日其他に就き協議を持ちる實際経営を開館、中等學校長會議を開館、中等學校長會議を開館、中等學

銀安に因る 歌口、廿日大連へ出張の密 関東縣戦務局増田事務官は蔣磯の 関東縣戦務局増田事務官は蔣磯の

一 九二五七後場 四不不九一六二二十二六 四十十〇〇〇

南満教專が

方針を

る由

自由主義の教育に

來る四月から實施

計畫に賛成

電開会のことに内定した 電開会のことに内定した であった大連市 衛生委員會延期

程、紅熱、調査委員會 関東州壁紅熱調査委員會第四回協 所で於ける各委員の調査破験事項につ 於ける各委員の調査破験事項につ 於ける各委員の調査破験事項につ

『京城十六日發電』昨十五日養審 終結せず取職織行中であると

大田事件取調續行

關稅調查委員會

一名。判任四名の教論増配の管で右中等壁校官制の改正が發布さる右中等壁校官制の改正が發布さる右、管現の暗は委任

中等壁校教諭五名を増員し定員九中等壁校教諭五名を増員し定員九中等壁校教諭五名を増員し定員九中等壁校

日は來る三十一日と決定した

だを見るに至らなかつた、なほ今をを見るに至らなかつた、なほ今を見るに至らなかった、なほ今を要している。 果して町が主となつてやるかが、果して町が主となつてやるかが、果して町が主となってやるかが、果して町が主となってやるかが、というではいる。

・再選擧期日

中三丁目館長は語る 中三丁目館長は語る 中三丁目館長は語しもが心から希望 中三丁目館長は語しもが心から希望 はの なる事となるでせう

政治の經濟化

るを得ない、殊に對支政策力至對 耐政策の如きも、政變毎に朝令暮 しめ、わが經濟的發展を達成せし しめ、わが經濟的發展を達成せし しめ、わが經濟的發展を達成せし しること能はざるも、所謂政黨 政 た在支邦人をしてその歸趨に逃は ともること能はざるも、所謂政黨 政 を入す、爲め 的

解散回避策動は

結局物にならず

野黨側は疑獄事件で肉迫の形勢

学法の規定により解散富日より三十日目の普通日を投票日とするに、まって十一日除散。 の時は二月廿日となるが、動人、の時は二月廿日となるが、動人、の時は二月廿日となるが、動人、の時は二月廿日となるが、動人、個問職となつて居た繁三者の連名に大きである。 機職がは内務省合にて禁止するは、数値でないとするに決して禁止するは、また、まつて持た、ない。

反對通告

能なことくされてゐるが五年乃至の論支那が今直に金本位職を操る勿論支那が今直に金本位職を操

5

本年十月一日

社

說

緊張を呈するであらりと見なるに於ては貴族院の形式

第三者の推薦狀

内務省に於て協議

和蘭中央銀行

若槻全権はドーズ大使を通じスチーでは十七日箭英するはずであるが では十七日箭英するはずであるが

岩槻全権はドーズ大使を通じスチ ムソン長官に對し成るべく速かに ムツントンに於ける會談を癒行し

那個内部の不統一といぶより南京 で見てゐない且これがため正式 であり得まいが見方によつては安 ではないより南京

本では國民政府に右の批野があることが一部に満れたことも一の有力なに高る職位による金本位制を實現に着る職で今次銀の繋落があることが一部に満れたことも一の有力な

アムステルダム十五日愛電』オ 四分五厘から四分に飛下げた 田 邊代議士失格 田 遠代議士失格 日左の如く愛表した 新潟縣第一區選出騰員田邊熊一 は紫麓院護員當選無効請求訴訟 事件につき十一日大衆院に於て 判決確定の結果退職者となりた

大藤省の見界 我大藤省の見界

はこれを はて海陽税を優なしたが はでは金本位縁度を確立せんとすることは強にケメラー委員會に よって作成された窓であるがその よって作成された窓であるがその よって作成された窓であるがその はて海陽税を優別したが準備のため金を 以て海陽税を優別したが準備のため金を

地壁在陽係筋でも非常な注目を掘り外に方法はないとされ我國の常り外に方法はないとされ我國の常力には之よ

內交涉續行申込 た

我全權ド大使を通じ

の必要」を力能し同四時等職會し答あり最後にが相より「懸理緊縮 米國全權に

カナダの部分 アラン・マクナブ

キングストン・クヰーンストン・サ

・ゲネシー其他の

本ではないか。一體に當時の米加酸 の得意の様子を想像すると、一種 に深ぶ、 ではないか。一體に當時の米加酸

在牛津 關

うな観きを彼に感じるのは、一は べき実快味、晴れ渡った様空のや べき実快味、晴れ渡った様空のや

八三七年カナダ政府に扱いてフラ (協命された。数に再び彼らしい選 る事件であるが)がもち上つた一 であるが)がもち上つたー

は十五日午後六時より湯崎子溫泉満郷郷製仙石買氏主催の新年宴會

意気器など故郷の手術を挙げたのは後 中長く彼の自慢話になった。一八 一四年休職後、狭い腕に下げ切れ ない嫌つかの瓢覧を貰って、實に ないがある。

ない 合衆國人から浜船カロライナ競をから運び入れてゐた。之を知つて と 一次を新やした彼は數人の養賦兵を から運び入れてゐた。之を知つて で 一次三七年十二月来日実夜 で で かんだナイアガラ河を運り、カ

を物に聴致した 物の脱野に出野け、大きな統をかったで、すつかりを脱げ、大きな統をかって跳び頭つた機が想像されるとの愛すべき少年兵は併し、夢中にはり残功を脱ばしたとある。 残にのをサイアガラ 嫉黙のを動に加いを事げたのは後

の物 時に との考へが十九歳であを變へた。 との考へが十九歳であを變へた。 との考へが十九歳であを變へた。 との考へが十九歳であを變へた。 との考へが十九歳であを變へた。 との考へが十九歳であを變へた。 との考へが十九歳であをして、大小政治家の風貌と始めた。 との表格を得た。との表記に出てるないが、 を機能し、その婚題係の下級。 を観光し、大小政治家の風貌と始めた。 を提し、一世、大小政治家の風貌と始めた。 を関いた。 を関いた。 を関いた。 を関いた。 を関いた。 を関いた。 をいが、 を関いた。 をといた。 を

阿片自殺に叱られ

年宴會の新

▲字佐美蹣纖纖道部長 十四日歸

▲二宮憲兵隊長 十四日過率旅順

城內財界動搖

內廳海町三番地金貨業支那人魏

英國植民地功勞者列傳

巡警を狙撃

め之を能何し取調をなさんとする 「名連れの睪動不能な支那人を認 一名連れの睪動不能な支那人を認 では、一名連れの睪助不能な支那人を認 では、一名連れの睪助不能な支那人を認

市内小東陽の魏家胡同に住む季市内小東陽の魏家胡同に住む季とは隣れにも果敢ないことであるとは隣れにも果敢ないことであるとは隣れにも果敢ないことであるとは隣れにも果敢ないことであるとは隣れにも果敢ないことである

閉店通告

吉

指導ありこの際至急入門を希望すら一時間來る廿三日までは爪螂な

本年は午の歳である、干支に縁んで我が馬竜泉の目出度かれかしとで我が馬竜泉の目出度かれかしとで我が馬竜泉の目出度かれかしとで我が馬竜泉の間出度かれかしとで我が馬竜泉の改良を賦らればならぬ、満れたる関東州麓馬台に基き州内に

めず内容も亦大に改良する處ありてより外観を一新し全然確應を止

三萬職に塗し其七糖が至八糖は一時項阿片を多量に嚥下し何知らぬ地の補賃石炭消費量は年額約五一子陽二女小様でもは十四日午前九 はし例年に比し約三鴨滅を監察となってゐたが最近に基大なる も地方

が勝可され、協案天に所謂地方

「健を許可され、協案天に所謂地方

「健を許可され、協案天に所謂地方 タ人の紹信 せるものが 外人の經營

本語が はいます。 つて教薬の教育方針は を記念するそのまるに生徒の性質 を記念するとのまるに生徒の性質

聴きを異にしたない

圓に處せらる

町の便

の復出数は合計三百六十事に遊しの復出数は合計三百六十事に遊しを今日遊に収扱った合格品の複出数は合計で収扱った合格品の複出数は合計である。 職氷捐は松花江 は吉林官帖二品 は古林官帖二品

長者神礼 恒例に依り十五 日午後二時から離内武前に各戸の 注連職その他の神前裝飾物を築め で清火をたき左叢長の式を行つた 平城百七、八十事を上下してゐる 然し本期開始以来今日までの輸送製量は既に百七十五萬順に上り大製量は既に百七十五萬順に上り大製を輸送し番したので数一千人の関際運輸支店の苦力はこの際相當 りの北浦貨物連絡輸送は一日六百時産出廻り最盛期には東支鐵道と 開始以來今日までの

唯する事に決した 来る廿九日午後一時同社内に於て第三十二回定時株主總會を開 借「管業決算報告並に利益金處 份案承認の件、証査役川島足兵 衙氏任期滿了に付選擧の件、前 社長及常務取締役退職に付慰勞 金體呈の件(社名を開原電渠株 式會社と改稱、決算年度を三月 九日に變更等による各條を變

殿業倉庫開業 安

の準備を整へると共に、影響並に 新春以来未曾有の級の脚落は蝦商 側に有利に襲回し邦人輸出商は採済 の準備を整へると共に、影響並に

に復し間もなく立法議會議員になった。このカロライナ號事件はその後数 れたカロライナ號はナイアガラ流 を職に呼け散つた。嫉亂は一八三 を職に呼け散つた。嫉亂は一八三 では、一八三 では、一八三 では、一八三 では、一八三 では、一八三 では、一八三 では、一八三 一度もその識朧を失つたことがなった。そして死ぬまでの廿五年間 かつた。この間に彼は 一八五四年五十

開

役會を開催し左記の通り總會を開當地滿州電氣會社にては十四日重 滿洲電氣總會 社名改稱等附議

を表示の一個である。 を表示の一個である。 を表示の一個である。 を注意が最も肝要である。 を注意が最も肝要である。 を注意が最も肝要である。 を注意が最も肝要である。 十脚を市民會慈善部に寄附した不順作

は二毫で毎日一回運転すると は二毫で毎日一回運転では整城では、この程能水のとが、この程能水のとが、この程能水のとが間の等である、使用自動用中に開始の等である、使用自動用 卓球大會學行 來る廿六日に

藥學博士工學博士高峰讓吉氏發見以來三十餘年、今や消化 酵素の資庫として聲價彌々高し

(1) 消化不良に因する總での胃腸疾患 (2) 無力性胃弱者 (3) 結核其他慢性病者、重病恢復期等苟も食慾を亢進せしめ、 消化を佳良ならしめ、栄養の増進を欲する凡ての場合盛に

支那側の滿鐵炭需要 天

▲吳鐵城氏 十五日朝北摩線にて

奉天道場の

(電)は麻醉難規則違反で罷命州 さる。

吉林省政府建設の水道局の松花江東が省政府建設の水道局の松花江東 東子組合例會 観山菓子 高級合では十七日午後七時より北 二線町岩見堂小川氏方に於て例會 を催し原料品仕入其の他の件に就 き協議し終つて新年慇��會を催し そ後十時散會した

白系露人 又、赤に追はる 長春へ舞ひ戻る

特産過半出盡

山縣幹事四年度の會試報告あり、り實業協會に於て開催、川村會長り實業協會に於て開催、川村會長 無順農會總會

は十二日午前何れも家族同代社伝 政署税務主任の轉任の長谷場純氏 政署税務主任の轉任の長谷場純氏 政署税務主任の轉任の長谷場純氏 政署税務主任の轉任の長谷場純氏 を表示の四氏は十一日午前旅帳民 を表示の四氏は十一日午前旅帳民 を表示の四氏は十一日午前旅帳民 を表示の四氏は十一日午前旅帳民 田邊署長歡迎會出發した

である されてゐる 中野氏一周追悼會 鳳凰城煙草收葉高

官私印像選会私文書傳送行使能欺 により目下安東署に於て取鵬中の により目下安東署に於て取鵬中の 機でその被響額も六七萬圓に達す るであらうといはれ一般より注目 の模様

轉勤者赴任

安東卓珠俱樂部は昨年中秋期大會 を開催発定のところ種々の都合に よつて延期中、各チームの総督も 十六日の日曜日に開催する事に決 定、戦部の間に避備中であるから 定、戦部の間に避備中であるから 巡捕殺しか 容疑者捕はる

に 中の常地教学の融料は二葉千八百 除圓松獅千七百五十餘圓骨郡 化九百 五十餘圓開花九百 五十餘圓開花九百 三百餘圓で例年の中分にもたらぬ

金 州

昇格希望の 部有識者間に

婦人互禮會

大石

橋

人學生の増加を期待され得るものつ、あるが異格となれば一層日本 久澄事件擴大

| 異し十三、四日の陳日中に豆精大| 異し十三、四日の陳日中に豆精大

れるものと観られて居る

鴨緑江に氷上

自動車を運轉

像然難較並に豆粕の取引に活べを取割質付けを開始したるをもつて

共株式會社

築物の改築並に馬場の改造を行ひ の競馬場は先年スタンド其他の建 の一次にある。大連 是れなければ競馬は毫も変優しなくべからざるものであつて難馬の ものである、馬祭は麓馬に必要献 れまとして は此歌思祭 私案として 是は我が國の法律に依つて殿に間

こに就いては最も考慮を拂はなけ

滿洲競馬發展策

騎兵大尉

は 現今我が國に於て實施せられて居 る 大連に於ても現に同式を實施 す して居る、故に茲には詳しく説明 さ して居る、故に茲には詳しく説明 な を要さない、即ち第一辭寫にのみ な 実態祭を所有する人に ける難馬の歴史に徴して明かなる ことで今更茲に諜々を要しない。 なる影響を及ぼすことは世界に於いのみならず馬匹の改良増殖に大 地戻を行ふ ものである 度が無いと聞いて居る、我が國に をなに七年其間、當初杞憂された をなに七年其間、當初杞憂された のず内地各難馬俱樂部は乾れも順 がする發展を遂げ、地方馬壺に良。 がするお果を塗げ、地方馬壺に良。 がするお果を塗げ、地方馬壺に良。 る丈それ丈婦展したるは疑ひない でしたる影響は監泥の差である、 でしたる影響は監泥の差である、 を事件得た を要け得た を要け得た 現在以上のである、然れ共

せるや大に研究を襲すべきであるないのは製して其原因那邊に存在

質る有利な る方法にして娯楽的階級の趣旨に適合し配もて娯楽的階級を表るに最も便利なる方法である、即ち觀客の持つ思然方法である、即ち觀客の持つ思然方法である。

會を催すと のでは来る十八日同校 になって、リンクに於てスケート

スケー

ート會

春の涎料半減

観がある、而して所謂常連なる者

寒べとして際天の崖を見るが如き

しと雖も、依然として紳士の足を

あるであらうが余一個のと思ふ、蓋し是には種々の原因が

七時より實業會堂に於て催し撤職。 とり實業會堂に於て役員會を催しより實業會堂に於て役員會を催しまり實業會堂に於て役員會を催し 午後九時解散した 一年後九時解散した 一年後九時解散した 一年後九時解散した 一年後九時解散した 一年後九時解散した 青年團協議會

京

城

下百方善後策を講究中であると
「一下百方善後策を講究中であると」

大馬路を起工

方面から仕入れた野菜類が凍結し 長新市場會社は昨今の熟氣で南滿 知事會議

コーパーセントまで費り物になら なので目下東解析止装置を確定し

長寬支線

震支級事業時武襲車隊の附属地通 通阻止問題に業を煮やして支那側 が勝手に敷設した電域子長幹間の 東鐵支線は一部軍隊の輸送に當つ 東鐵支線は一部軍隊の輸送に當つ

順

長

要あり到底經營しされない能りで後備継續して使用に進へず持て除してみたが今使用に進へず持て除してみたが今

回するだらうと見做さるAに至っ 動電壁の襲選が完了すれば再び撤 が完了すれば再び撤 雪崩込む

古城子露天掘

輸入組合 創立總會

其他を議する事となった因に伊藤 地一酒の一貫出し 石川商店 地一酒の一貫出し 石川商店 一十銭との事又公會堂側磯貝商店で 十銭との事又公會堂側磯貝商店で 十銭との事又公會堂側磯貝商店で 大石襟輸入組合設立に関しては過れた。大石襟輸入組合設立に関しては過れた。
かな誤解を得て十三日賢石したのかな誤解を得て十三日賢石したのかな誤解を得て十三日賢石したのか、一方な誤解を得て十三日賢石したのか、一方な誤解を得て十三日賢石となる。

日墨官民合同にて昨十六日午後五時より金州小學校講覧に於て田邊総株式會社支店長より青島支店に発験株式會社支店長より青島支店に受験せる石脂作太郎氏の後低として尚支店工場長南日以吉氏が就低

東

あつて

と約一千百五十萬石、一町で、此收量を我が石敷に挽

滿쨇本社を奉 天に移轉せよ

意限したのは不思議もないが日本が之に代つた時に於て依然として 旅大を本據とした事を彼の天才的 派とはでは、 を表情とした事を彼の天才的 がとに代った時に於て依然として

旗順炭礦

巴

感

(中)

代で如何に島民が自然の天惠に馴

生産能率 の向上を認つて

日本の満蒙の經濟には一十年餘の今日本の大所高所する。 一世と、家にして満強本社と、変に中國と脱の東西、大所高所する。 一世の大所高所する。 一世の東京の、一世の東京の、一世の大明、一世の一年に一生の一年に一生の一年に一生の一年に一生の一年に一生の一年に一生の一年に一生の一年に一生の一年に一年に一生の一年に一生の一年に一生の一年に一生の一年に一生の一年に一生の一年に一生に一生の一年に一生の一年に一生の一年に一生の一年に一年に一年に一生に一生の一年に一生に一生の一年に一生に一生の一年に一生の一年に一生に一生に一生に一生に一生に一生に一生に一生に一

日より之を見れば補銀本社を奉天 に置き、總領事館に関東應の組織 の一部を加へ中外の事情に精通し

の一部を加へ中外の事情に精通し を薬政治に明ある日本の代表的大 人物が之等機關を統裁し、 健に全 人物が之等機關を統裁し、 健に全

宮內省御用達

銚子

香油

禁縣銚子港

(四)

南

征

雑錄

(79)

・ 本人であっただけは確實らしい、 来人であっただけは確實らしい、 来人であっただけは確實らしい、 来人であっただけは確實らしい、 大抵年二回の收穫を とがあって、大抵年二回の收穫を とがあって、大抵年二回の收穫を

が鳥民の氣質に適するからでもあと異り、耕作に手敷を要しないのと異り、耕作に手敷を要しないの

給を外國産に傾いで居る、今一千七年に於てすら、猴約九萬石の補

1九六、四四〇 中、一八四、〇〇〇

八二、岩

4、公公、100

大大 は 土人用の 震動 に 無いこの 原料を 應用 として 其間に 要が で に 無いこの 原料を 應用 として 其間に 要が で で お で ま が で ま が で ま が で ま が で ま が で ま が で ま が で ま が で ま が で ま が で ま で な ど に も 響 が で ま で あ る 、 そ の 外 で 非 常 な と で あ る 、 そ の 外 で 非 常 な と で ま る 、 そ の 外 で 非 常 な と で ま る 、 そ の 外 で ま 常 な と で ま る 、 そ の 外 で ま 常 な と で ま る 、 そ の 外 で ま 常 な と で ま る 、 そ の 外 で ま 常 な と で ま る 、 そ の 外 で ま 常 な と で ま る 、 そ の 外 で ま ま と で ま る 、 そ の 外 で ま ま と で ま る 、 そ の 外 で ま 常 な と で ま る 、 そ の 外 で ま 常 な と で ま る 、 そ の 外 で ま ま と で ま る 、 そ の 外 で ま ま と で ま る 、 そ の 外 で ま ま と で ま る 、 そ の 外 で ま ま と で ま る 、 そ の 外 で ま ま と で ま る 、 そ の 外 で ま ま と で ま る 、 そ の 外 で ま ま と で ま る 、 そ の 外 で ま ま と で ま る 、 そ の 外 で ま ま と で ま る 、 そ の 外 で ま ま と で ま る 、 そ の 外 で ま な と で ま る 、 そ の 外 で ま ま と で ま る 、 そ の 外 で ま な な と で ま る で ま な で ま る で ま な ま る で ま る で ま る で ま る で ま る で ま る で ま る で ま る で ま る で ま る で ま る で ま ま な す ま な で ま る で ま な ま な さ な ま る で ま る で ま な ま な さ な ま な 高さに生長し、成職後は除草の必 高さに生長し、成職後は除草の必 要もない庭園同様で、實の際する のを機會に一年一回の敗塵をすれ のを機會に一年一回の敗塵をすれ 缀

本相當訓練の必要があるが何らし ても行論れる現狀を打開するには 日本の中心勢力を奉天に移し奉天 政府と繁等機關を作り、奉天に於 で戦の日支基郷を行はねば百の努 で戦の日支基郷を行はねば百の努 東拓、鮮銀、市中仙。 いつれ

に勉励することは同胞の消蒙愛長 在 順二十萬の同胞が夫々其の職務 非常なる危機に瀕し日々に衰滅にに致してゐるが一方、満洲は今や 政治的訓練を

かったが今後は響國外交が必要である、程は率天に絶難有力なる同胞に適當なる政治的脈織を作ると共に、在滿同胞であり同時に民主思想の愛達し、動であり同時に民主思想の愛達した國で、時の帝王は人民の代表と提手。 は駄目である、世は擧國皆兵と云るには外交當局にのみ弱つて居てるには外交當局にのみ弱つて居て

に日本人の政治的訓練が必要であ ものがある、故に各地方に於ける 長間有力者、官慰等と提携する様 に君主の代ることは不思識と思ふは何時かごぶとの思想がある、故

の質切れ

最寄の酒醬油店 内内お早く

野校の教育造排日教育をして居る が三千萬中識者と解すべき者の数 が三千萬中識者と解すべき者の数 に転抗し得ると思ふ、支那人が小 に転抗し得ると思ふ、支那人が小 歌目である。 あららか、在滿日本人が協力一致真の四十萬の內滿洲に何人居るで

な初代總裁の停業としても遺憾と するものである、勿論當時率天中 関官滅の勢力は今日の如くならず 且つ戦後の日本は優越欄を過信し て居つた爲めに中國官滅の勢力を で居つた爲めに中國官滅の勢力を

日間に加墨がわいてあると、血管、乳ではない。 血管、乳では、血管、乳の行生が乳見に移行いる。

羅紗小倉厚司軍手現金卸賣

信養町市場本

の信號に從つて各級の活動を織け場で置ひ、在溝二十萬の同胞は其場で置ひ、在溝二十萬の同胞は其

持つと思ふ、従つて露國が旅大にらば旅大なるものが相當重要性を

接近し、 文朝戦闘を合せてあれば 本してあれば音々の考へる以上に をしてあれば音々の考へる以上に をしてあれば音々の考へる以上に は近し、 文朝戦闘を合せてあれば 日本の滿洲に於ける中心勢力は旅 で定まるものと考べてゐる、處が で定まるものと考べてゐる、處が 御互に排斥などと云ふ事は出來なくなる、率天に排日職ぎがあるのは率天の日本側が無力なるが爲めて、現狀に於ては牽天の日本側はで、現狀に於ては牽天の日本側は 以て新たにボーイ百五十名泰郷する次で來る二月一日三經路の同鐵路局駐海跡公園で英支雨國語第個 及び口頭試験を行ぶことになった 本新民屯駐地の騎兵圏の三十騎が 長際に起く途中・十一日午後二時 現開原縣馬干蔵附近を通過したが でを見た部落民が馬賊と誤聴して 之を見た部落民が馬賊と誤聴して な安分陰に急報し分陰からは更に 省帯郷局で處理した肺臓件数を發 は昨十八年中管内各縣法延及び全 は昨十八年中管内各縣法延及び全 大狼球▲局長尹連元は即時騎馬除縣城公公安局に援助を請ふといふ が兵隊四十名を率あて追跡し發見

子フクランでリー語

は貼目なき鳥の細蜜の仕事が出來且保温の鳥の『ラクダ』

九九七

尺尺尺寸 ×××法 十九九 尺尺尺

至自至自至自

法

家庭用イギュー学校の

时久力絕大、

洋間に相應し、個裁優美、個

(関格至康の三幅揃

着

新

マクニンが必要。

たする気はいる常に

基連第次越申御りあ子册るす題と『蟲蜩いしる恐』

コム手候は贅沢品ではなく

(可認物便郵種三第)

気品附大賣出中

ニリットル坦

毎ヒゲタ醬油ニリット 一本御買上げ毎に ル場詰

乳兒綠便・小兒下痢等に對し

及び္防効果を吹むるのみならず、膳のビオフエルミンは安全且つ離實なる治療

消化不良。鼓膓·常習便秘

個進 ム(三十錢の品) 是

御園ク



すから健康増進劑ごしても質用されます 毒による動脈硬化症・腎臓炎にも有効で 生理的機能をたかめ、消化を進め、自家中

お買求め下 膓 新 9

ネメルへ 黄金の色 至上の味 天上の酔

電話四五七番 行

M-162

毛糸 毛織物、

MANCHURIA SOAP MFG.COM

(マルセル)石融同質の優良品にして使用至つて糖便効果極めて軽大な。 缺ぐべからざる必需品なり 絹物の洗濯に

毛製 毛製 知

五〇〇八二 〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇 四八番行

H316

たします た簡易消毒完全なる故永久絕對羽虫發生の憂なく至極安心で有升原料の精撰、技術の優秀は未だ曾て數を見ず輕く、暖く保存に使用東洋一の定評ある大原式羽毛布トンは如何なるもの。工場の完備、 では、

大原商會大連支店

六ケ月満了

製造元 牌戶市二號町 熊湖神戶衛生實驗所 別名薬店にあり。」

29-1035 (D)

痛ューノ ージ 300.000.000 服で充分です

頭

物してお家に踊つ

その日、太郎さんは、娘々祭を

でいれてそれに見とれて居ます。 大郎さんはさら言ひながら、吾 大郎さんはさら言ひながら、吾

それは七尺覆もある一本足の長い下駄を足に纏り付けた、背丈の一丈館りもある様な、赤い着物や一丈館りもある様な、赤い着物や一丈館りもある様な、赤い着物や

りますので、

ヘッと眼を覺ましま

行ったものは、一覧何だったで太郎さんが見て、思はず配出し

ありませんでした。 その暖の事でした――。 太郎さんが髪で居りますと、 本

話童賞懸 一選人等三一

西

元詩圖雄

が二三日して一度下熱しますが再は前に申した様に高い繋が出ます。熱

學齡兒童の

个學申込

いての心得

び登離して下聴するのが特徴であ

だして居ります。時には、胃腸がはしがる)を眠へ、便通は多く砂・腐吐がはげしく口味へ湯水を

で通は多く秘では、 といっては 電

れから子供さんによつては嘔

をするやうにする。そして、他のの内に流感に罹ったものがあれば

大チャ

モウジウ

ガ

IJ

畵

名在社は一回金献拾銭増 名在社は一回金献拾銭増

信用 大口貸金及手形割引 大口貸金及手形割引 日に御用立致します 電話七八八一番 電話七八八一番 電話七八八一番

電五四三九

生花 若板

(6)

大チャン

ホソナガイ

ガニ ヲ ニ ウ ア ゲタ エ コ パ タ

72

ウシロ

オドロキノ

イマニ コエヲ

女子

受電ニー四〇九二素人にて十七八

南品 祭職業債券公債復 西通三五電六六次三大連案内社 西通三五電六六次三大連案内社 西通三五電六六次三大連案内社

藤藤町二三 谷澤 電六六六二 ・ 選 理技術本位

南海常眉山

兔庫 間宮式手提金庫 門支英米華寶特許

瀬戸物へ彫り込み町 山州

「ドウシタ?」ヲヂサン

大チヤン

コレモ「アツ」 タタマシイ

アゲマシタ。ウワバミノヤウナモ

デシタ。

ミルナリ

ねる子供の

大くなり夜は安殿いたしません。 を建に優し、よく中耳炎を聴し、 をはに優し、よく中耳炎を聴し、 をはに優し、よく中耳炎を聴したしません。 なくなり夜は安殿いたしません。 なくなり夜は安殿いたしません。 をはに優し、よく中耳炎を聴した。 をはに優し、よく中耳炎を聴した。 一時湯ダンボを入れて暖かくなったら取り除けてやるのです。 たら取り除けてやるのです。 たら取り除けてやるのです。 それから、 扁桃腺炎や氣管枝炎を起した複合は降師の指 るのが形態であります。 高難のとき氷枕を以て頭部を冷 ムケの去るまで普通枕をしてやる のです。が見は額を冷すと繋がり

後候 テモー

今度の流戯は、今遊記

を翻茶を時々興へてやるのが大事ですと電湯とか牛乳位にしない、乳が見ですと電湯とか牛乳位にして、日乳であれば規則的に興へて、自湯のですとですと、日本のですとです。 風邪を引くことが多いから注意し きかなくなり部屋が急に冷てよく きかなくなり部屋が急に冷てよく なければなりません。

をするやらにする。そして、他の 兄弟姉妹は、其話に入れぬやらに するのが形勢です。 れば必ず「マスク」を掛けて職験 で乳房を清拭して乳を興へるよう にして感染せぬやらにする。 冬の家屋内の塵は多いものであ うますから、各室の換類が沸戯にかゝ でことが必要です。一般に強か、 であると、咽喉を維めると申します。 を解除するときは經を開いて拠氣 が、室内の塵を吸つて風飛に離る ををがあると申します。 たいであるともであると申します。 をおいるです。それ故、室内 であるともであると申します。 であるときは経を閉いて拠氣 が、室内の塵をしてして、他の であるともであるともします。 であるともであるともします。 であるともであるともします。 であるともであるともします。 であるともであるともします。 であるときは経を閉いて拠氣。 " 3 トアラハレタカラ ノヤウナ 大チャン

女中 さん入引十五六歳より二 大中 さん入引十五六歳より二 本談あれ美濃町一九番地 初音 本談あれ美濃町一九番地 初音 本談あれ美濃町一九番地 初音 が道路で希望者本人 が記者本人

現住 常盤橋櫻すし お霧司の御用は お霧司の御用は

大連牛乳株式會社電話四五三七番

五球 ニュトロダイン 附屬品付百五側より百五十側迄 一九九、一二一蔵側 一九九、一二一蔵側

傳家お

壽司

は常盤橋の気がす

ラデオは何でも大勉強・ヤマ商會・電話八七二二番・ヤマ商會・電話八七二二番・オは何でも大勉強・電話八七二二番・カーの大会のでは、一番・オールのでは、一番・オールのでは、一番・オールのでは、一番・オールのでは、

電六一三四

五。三六七八

牛乳

來ないでせらかン でせらかン (申込みの時までに戸籍謄本が

ソタルテストを行ふ際校もありま

(通野區域はどんな風にきまつ) 度は多少通野區域が變更されることであり、各小野の大人を行ふ野校もありま 一般なも大人際級の増減があるので今夕ルテストを行ふ野校もありま 一般校も出来ることであり、各小野

英文を強成並應印書都紹舎有がなり、大学の大学を表した。

Ep

刚

大文 及邦文タイピスト生短期 大文 凝惑通九六北側裏 薬學會 監部通九六北側裏 薬學會 監部通九六北側裏 薬學會 監部通九六北側裏 薬學會

邦文 タイピスト短期養成

社員 招聘固定給支給 機町一三四中川晴夫宛履歷。

ラデオは何でも

漫町一三四中川晴夫宛履懸邦送れ 大採用的筆なる者学生の四平街 渡邊 圏 院

て事物量なり係りの者が書いて具 事いたらい」のでせう) (入壁申込みの書式はどんなに して置いて、あとで提出するやうその場合には取り取ず申込みだけ う。此の四月からは新たに下藤小 通夢區域は夫々の摩校できまつて をますが、先づ近所の子供の通婆 かますが、先づ近所の子供の通婆 かますが、先づ近所の子供の通婆 かますが、先づ近所の子供の通婆 かますが、

数、既在議等についてわかるやう の関係、戸主との関係、種類の回 の関係、戸主との関係、種類の回 が、は名、職業、見重と保護者と の関係、戸主との関係、種類の回 一〇申込みの時には子供を一緒に

連れて行つた方がよいでせら

京天文臺、電燈の發京天文臺、電燈の發 教育及兒童圖書紹介 石川區難司の話、東馬の話、東

度は多少道壁區域が變更されることになるでせら。下藤小野校に入とになるでせら。下藤小野校に入とになるでせら。下藤小野校に入

南山麓の女子高等科が

いのです。

聖徳校に

移る

吉野町の

ットー 吉野町六名古屋館電空二 一 間提供級切叮警は館のモ 一 間提供級切叮警は館のモ 一 泊り一圓破格大勉强和洋 大連美濃町九五貯炭場前聽雨館 大連美濃町九五貯炭場前聽雨館 第12 は浪速町路木 第12 前田宮賃館 電三六八八番 東北日標町館でル は信濃町館でル で、コイイ) **薬及治療**

高温 支那服の準備有日本橋際 電話三五八四番 あま酒 一井三十五銭 大連市二葉町一〇四 木連市二葉町一〇四 木店

電七八五九番

社 製造売 大連市若狭町一八一番地 製造売 タイゲン洋行

実確

地番王王連部监

の御用命は

中書 原標電八四七一名刺 スグ出來ます 電話八五九八番 電話八五九八番 東 襲 田本タイプライター印書

物タクシー 貨物道送

大山通 邦文献文タイプライター

毛皮鞣、染色、 **陰豊田洋行**被

株病。署北。湯道。等矣。思書夏斯 場人病內隱。喇叭管。卵巢炎。殿。 健康は國家興隆の基本なり 大選市親連町五丁目二百一音 大選市親連町五丁目二百一音 大選市親東隆の基本なり 大選市親連町五丁目二百一音 大選市教

現北北縣 取扱



間中場廣西·播發常·通西連大

ホネッギ 尚德館 門專

二八町濃信市連大





大連谷小敷校の入駅申込受付は十大連谷小敷校長倉議を開いて協議 | (今年から子供を壁校に出したい | 億ないところです。もら一日避くと思ふのですが、いつ申込んだ | 生れたら来年に廻るのです。つまと思ふのですが、いつ申込んだ | 生れたら来年に廻るのです。つま

月二日以後に生れたもので、大正十三年四 月二日から大正十三年四月一日ま

入學が出來ません。

なら、直ぐ離腸して職部を含し 通じをつけることです。

日 食べたと思つたら「ヒマシ油」 とであります。殊に、不消化物をセリンで温暖して便通をつけるこ

はなりません。手足が微たら手足 を入れて くかせたり「湯タンボ」を入れて を発せたり「湯タンボ」を入れて はなりません。手足が微ますが布職を厚

をいっていますと、海域に催り 実強熱が出ましたなら直く いかりません 変数熱が出ましたなら直く いかを

までに決りました、表牢まではころった。というは、一月一日から二月末日までよしたが本年は壁絨織像の都合上申込みの期間を続くしたのださらです。一日生れですが八壁が出来ませてもついた。 (申込みはどんな風にすればよ

天まで届いた高下駄の話 先づ戸籍階 市役所なり役場から深じめ取り寄す。若しそれが無ければ原籍地の せて置かなければなりません。 先づ戸鑑謄本か又は抄本がいりまいのでせら

「さる超きて外に出て、此の高下 たつて上手に穿けますよ……」と だつて上手に穿けますよ……」と た。そして太郎さんに 下駄を自分の足にゆはへ付けて賞。 を潜たその支那人に、その長い高 を潜たその支那人に、その長い高 华信代疑で、じつと支那人の姿を

世界一の

の印

阿左見福馬

大太郎 電話四三

御一報次第多上致

電ニー七一一番

號後屋質店

U

修理工場は

電話四六九二番

薬はヒシカワ薬局

市本鄉駒込曙町其社

カフェー 向飲食店目 電三八四五

電話六六八八へ

下門のヤナギャへ 専門のヤナギャへ

一年1トカコ

ナイヤガラ瀑布

リカ瀑、右がカナ

つ、と出ました。

と有頭天になって呼びました。

「自分にもあんなに一本足の長い」では、 「自分にもあんなに一本足の長いとんなに離出いだらう。 そしたらとんなに離出いだらう。 そしたら

清

そして太郎さんは心の内で、

太郎さんは、髪で高下 分が上手に高下駄を覆いて居る處 ちゃんに見せて、皆なを吃驚させを、避ちゃんや、清

すと、今日整間、娘々祭で見た赤い着物を着た支那人が、あの一本 い着物を着た支那人が、あの一本

そして、急に太郎さんの背支が一 に地蔵に立つ事が出来たのです。 、急に太郎さんが、見事 いって、からない。 を足に付けた太郎さんが、見事 「やあ、やあ、これは不思議だぞとんはさら言ひながら、恐々歩い あゝら不思識、何と奇妙ではありひました。そして、立つて見ると の頭はお家の屋根の庇の上に、に
丈位に伸びましたので、太郎さん 「「一般三四丁のゴート」

後者は幅は廣くて二五五〇呎もありますが、高さが一五八呎しかありません。何でも世然一を跨る米人は「アメリカ瀑は幅は狭いが、高さが高い」と繋をうごめかします、何と云つても脱髄で、水懸濛々、百雷轟々とでも云ひませらか、すばらしい地響きです水懸濛々、百雷轟々とでも云ひませらか、すばらしい地響きです水懸濛々、百雷轟々とでも云ひませらか、すばらしい地響きです水懸濛々、百雷などのできた。

定

紫形瓶 1.20



地方 特製大物強自一調子幾次 「一二二」大連樂命令 電九七五三 大連樂命令 電九七五三 一二二 大連樂命令 電九七五三 一二二 大連樂命令 電九七五三 一二二 本連報 本修繕 電話三八一二番 電話三八一二番 電話三八一二番 河村清 賃衣 裳婚農用

日蔭町 たじまや電六六〇一番 話ある至急歸れ

を入 病 家ハリ 英専門療院 かん 病 家ハリ 英専門療院 かん 海連町五丁目二百一番 漁連町五丁目二百一番 漁連町五丁目二百一番 大連劇場隣根本薬司電七八六二 赤木丈太郎 電話四六九二番 20.0

〇四七 中央公園時留所前 西公園時留所前 本央公園時留所前 本 大院實費 貴香料を配合 御装ひになくてはならぬものせる本品のよい薫りは新春の 19 小 身 原 局

40°0 價 小瓶 0.50 中瓶 1.00 大瓶 2.00 特大瓶 4.00

電話低利金號 電話に大〇四人 洋服頻當發 前可公記政 時計·蓄音器 洋堂堂

位馬町 泰三倍會 電七九九三 襲響錠 電七九九三 乗水治療所 電話七八五○

鍼灸 あんま、マッサージ

岡椛店

質

鶴兒 幽科醫院

電話八二〇三

南部・・友田莞爾 電話、6243番 的市場正門前

5 柴田時計店 電三四七五 ・カバン馬 堀井商店 浦パ銃 鳥員ケー ゴルフバグ 語三三王三番 キング 團

新もみ其他腰痛手足の痛む御方標 は御來堂下さい 大連市美濃町二五電光六八人 大連市美濃町二五電光六八人 共心腰痛手足の痛む御方禄

大連市吉野町二五 野中醫院 性病。軟幣下疳 港 同明 艮馬 目場 江庄場馬 ルトクド





H

何見摩同三時五十分御歸瓜游ば中央放送局にならせられ詳細に

は十六日午後二時三十分東京

『京城十六日發電』京城鏈路署で

へ連消防署は

感よ實現に

に決定

來る廿日に勅令公布

關東廳では規定の作成を急ぐ

収調を進む

續々收容

角蔵職ぎにつき報酬電粉局長は語れた於未然に喰止めた、右摩生のとない。 右摩生の

H 南鮮の騒擾は未然に防止さる

自夕

今囘は徹底的に處分 堕務をして各學校につき調査中 ・ に誤分する、本府學務局長は道 ・ 取に騒ぐ學生に對しても徹底的 ・ て置く課けにも行か ・ では簡然体校を命じ ・ では簡然体校を命じ ・ では簡然体校を命じ ・ ではであるもさり

益々深刻化す

更に四百六十八名を擧ぐ

いかないから今

資格は確徽社員に限られてゐる は内、日露協會學校二名以內で 日本語館會學校二名以內で 日本語館會學校二名以內で

二十四、二十五朝日潴鑛本畝に於は來る二十日が織切りで、試験は で英語、數學、聽収及口答試問を

我社が満洲の文運に査し、讀者諸賢の眷寵に酬ゆべく、常に 我社が満洲の文運に査し、讀者諸賢の眷寵に酬ゆべく、常に 我社が満洲の文運に査し、讀者諸賢の眷寵に酬ゆべく、常に 我社が満洲の文運に査し、讀者諸賢の眷寵に酬ゆべく、常に

渍

本年度より規程の改正で社員のみれに顧年度までは重易者対する

は十数年來紀報のため藤原氏と別は十数年來紀報のため藤原氏と別が、十六日午前十時死去した旨在が、十六日午前十時死去した旨在が、十六日午前十時死去した旨在 大人悦子(こ)

个便な無電規程 海軍會議開會式當日の

ゆ見に者讀く

物偵探と史秘新維

徴説は、グリニッチ標準時午前十 組は從前通り設備消防器と協力消のてゐるが、從來の公設大連消防のでゐるが、從來の公設大連消防 火其他に盡力する筈である

作者の言葉

河伊

太郎氏

原

レート

演説を日本のラジオファンに聞か 我外務省でも此の世界的意義有る **ノルエー、彫、スエーデン、フィ** 向つて放送される事となつたが、 すべく滅信省と打合せ中であるが演説を日本のラジオファンに聞か イタリー等で

て見たく思ふっ

そこにこの物質

いまや私は、

彼等の埋もれてゐた塵埃を拂つて、此處に「維新革命」秘史を、公明なる陽光に縁

るのだ(起機の酸)

はは市井のどん底に驚居し、夜の闇黒に黒の難を咲かせて居った鑑こそ、反縁神を喚起し、且つその人心動揺を企圖して、革命時代の揺來に努めた者、

かせて居った輩こそ、反つてその種様に與って力あつ時代の揺が、に努めた者、即ち、無名の設士、鼠賊、女徳川治世三百年、泰平の夢をまどろむでゐた大江戸の

あらちか?

像人、健士、女丈夫……のみに依つて成就されたもので「維新革命」の鄙蛇は、果して正史に像へらるゝが如き

し勝行しつ、三回に亘つて鳴り響いたくめ、折飛が伸を濟し一家概 後の禁しさに浮れてゐた全市民は 次事だ、泥糊だと大廳ぎを初め鷹 年末非常では一次本で、水平で、水平で、水平で、水平で、水平でである。 一家本 この話が出たので激專本來の使いてゐた、學校當局者からも全然認められない者があるかに

伊藤 幾 久 造 氏 江戸川 亂步氏 近 火 妖

職歩氏は整像小説泉の脚王、正史氏は森下 耐村氏の後を受けた「新青年」 電線監督的、正史氏の葛披藤紋、襲つて容 の理監督的、正史氏の葛披藤紋、襲つて容 の理監督的、正史氏の葛披藤紋、襲つて容 の理監督的、正史氏の葛披藤紋、襲つて容 の理監督的、正史氏の葛披藤紋、襲つて容 の理監督的、正史氏の葛披藤紋、襲つて容 の理監督的、正史氏の葛披藤紋、襲つて容 の理監督的、正史氏の葛披藤紋、襲つて容 の理監督的、正史氏は森下

十六日午後七時十分頃旅順市白玉山中腹なるモーターサイレンが突 加としてけたゝましく大電響を破 がとしてけたゝましく大電響を破 が突

出す「迷路の殿堂」は、

財界攪亂の 熊本で配布

水盃を取交して

出たのである 出たのである

を博するに違ひあるまい (寫眞 るから必ずや一般現代人の共鳴 は小杉勇と入江たか子)

搜索

隊、剣澤にむかふ よ遭難現場の發掘に着手

小鷹竣工す

概律町とし沙河口、小崗子兩地に がない、倘消防器は取政。 現在の 上の定員州八名其他は定員の膨敗官吏となるのであるが、消防手以 では十六日朝來異狀に緊張し砂幣 では十六日朝來異狀に緊張し砂幣 では十六日朝來異狀に緊張し砂幣 では十六日朝來異狀に緊張し砂幣 のを緩慢が行李一個を十五日 明神多經由熊本地方に強つた形跡 場所 は 大き と しまり は いっこう は は かっこう は いっこう いっこう は いっこう は いっこう は いっこう いっこう は いっこう いっこう は いっこう は いっこう は いっこう いっこう は いっ

ある

に依つてはダイナマイトを使用す を以て降く事になってあるが場合 传旋、田部工學士の父及び! 関ざされ永久に發掘する事! 関であらり、闘今朝來富し 十七日朝出要連絡伝物につく管でした、開第二般の捜索隊十三名はの世家隊十三名は

かひの

突然退學を命令

ル名に

満洲教育專門學校で

工時学市内西九経道繁栄公司内に 工時学市内西九経道繁栄公司内に 二名組の拳銃弱窓侵入金票一千五 育園を選繫護走したが、無報によ り無軽無影響では輾動戦を行ひ非 情線を張って犯人の逮捕に努めた 常線を張って犯人の逮捕に努めた

昨夜撫順に 一人組强盜 千五百圓强奪 3 では、 をれはジオノンと命名され価部 をれはジオノンと命名され価部 がら血液中の糖分を増加しないと がら血液中の糖分を増加しないと してこのジオノンは茶、コーヒー してこのジオノンは茶、コーヒー してこのジオノンは茶、コーヒー を の企 がら血液中の糖分を増加しないと の企 のが、 を持つて居る、 それはジオノンは茶、コーヒー

八日目勝負

有効である【伯林鋄聯合】

『春天寺帽子』 としての本來の目的を達成するためー、二、三年生を通じ成績不良 の見込なきものまたは卒業。 しても流線小野校の激賞としては

保々地方部長は語る 将來子弟の数頁にたづさわられ はならない重大責任を持つてる

門野校では教育の刷新を聞り教長【事天特電十六日後】常地教育等

氣の毒だが

優待

るためには萬止むを得め

止を得ぬ

特選

映畵大會

八日から大日活で

ts

金

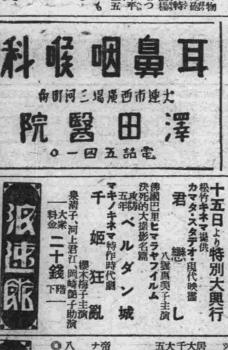
銀白金細

\$

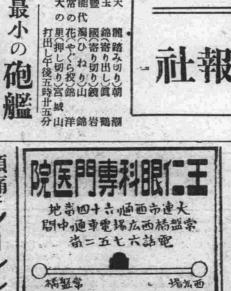
杉山光

新甘味劑發見 咽 B

图 田 澤







花

環

籠花は、

ら屋化環店

昨年省・文部省・教育職監部 十六日 は 書夜二回



一第用信 舗本議南アッハスパ○一六 目丁三街德聖

九六四六

弊會は曩に維持費の一助として御理解ある皆常の間所をいましたある篤志家の御後援の許に慶同下さいましたある篤志家の御後援の許に慶同下さいましたある篤志家の御後援の許に慶同下さいましたある篤志家の御後援の許に慶同下さいましたある篤志家の御後援の許に慶同下さいましたある篤志家の御後援の許に慶同下さいましたある篤志家の御後援の許に慶同下さる樣御願いたします。 慶弔用花環部新設

御婦人御子供オー ター、毛糸、子供ヱプロン バ、洋服、スエ 其他 附 湯 福山次町城盤 屋ククラ 九一六三・八四七五曜

1 8 着荷新 本各地 界各國酒類 キリアア 東京風菓子謹製 る産 ージ 食 料 000 44

と例の書き

変まみれの紙を脱いで、藤田の郷 大田和事はいかにも舷跳すると いふやうに小腰を屈あた。そして を見るた。そして

ん、ぢやあ、きたないところでえ」、別に何の羨支へもありま

対域に

満日俳壇

冬の月

を を を が に、 一様別にお差支へが──といふ言 を が 一様別にお差支へが──といふ言 で の特別な調子を が 一様の特別な調子を が 一様の特別な調子を が 一様の特別な調子を

多の月達かに雲の一地を出て雲の一地を出て雲の一地を出て雲の一地を出て雲の一地を出て雲の一地を出て雲の一地を出て雲の一地を出て雲の一地を出て雲の一地を出て雲の一地を出ている。

大連、大連、永井等月の一路や多の月の一路や多の月の一路や多の月の一路や多の月できている。

質に三倍以上も永保するな徳用さです。 冷水にさへ快く溶けながら而も必要以上には決して溶けず、中途に溶が要以上には決して溶けず、中途に溶が

其芳香

は温雅掬すべく、使心地の宜

徳用でせうか?

何故のミッワ石鹼は

度で訪ねた。

しひて落付いた。てこの部屋でこ

を見えるなどでは、 東京市小石川表町六八種岡美品で 大二国 特大三国 特大三国 特大三国 東京市小石川表町六八種岡美品で 大二国 特大三国 東京市小石川表町六八種岡美品で

今が着手の好時機

「生しも石鹼などの原料を扱ふに特殊の製法を以 は他学的作用は特別に緩和で、使用後 は些しも石鹼などのです。結果は──細かな泡 は他学的作用は特別に緩和で、使用後 に些しも石鹼などの変しませんから、皮 にとしる石鹼などの変しませんから、皮 にとしる石鹼などの変しませんから、皮 にとしる石鹼などの変しませんから、皮

回ミツワ石酸は

なる技術の設定の に、日夜科学的研究 に整しつゝある主要 に整しつゝある主要 に変しつゝある主要

どんな御用向き

た一寸も開いてある押入れの方を 中で笑つておいでかも知れない」 刑事は煤で裂けた襖の立てつけ でいるとのが表で、これをである様を、これをである様を、これをである知れない」

笑みを呼べた。 相手はまた獣の悪い唇にニタリ

落伍者となる

八八

地

獄

(14)

三上於

はからいふもので――」 その男はかくしから手帳を収り はからいふもので――」 しまつて

らか都片を露田に遡した。粗末なと、藤田もどうにかして微笑しるがには―― と、五號語字で印刷されてゐた の連中が丘さんにまんまとやられ と、五號語字で印刷されてゐた の連中が丘さんにまんまとやられ と、下キリと肚臓をつかれた―― よく知つておゐでゝしやうが――― と、ドキリと肚臓をつかれた―― よく知つておゐでゝしやうが――― と、ボキリと肚臓をつかれた―― よく知つておゐでゝしやうが――― と、ボキリと肚臓をつかれた―― よく知つておゐでゝしやうが――― と、藤田もどうにかして微笑し ◆胡鮮(一月號) 箕準及その後裔

新州紹介し

震撃やひを飛べて立つてゐた。 を計四五の検酵の男が、既い目に た計四五の検酵の男が、既い目に を計四五の検酵の男が、既い目に と、彼はその男をぢつとみつめ をして失職でございますが、私 と、言ったが、急に何となくゾ と、言ったが、急に何となくゾ

「しかし、藤田さん、あなたの住 大久保の駄菓子屋の二階にゐたこ どうもすつかりうまく眠まされての後の背息がサツバリ不明で―― 「別に鳴ましてゐたわけでもない

明霊の管せずなりぬ多の月 神符の船の灯や多の月 線月や大縄駅せる蒙古人 線月や大縄駅せる蒙古人 線月や一とかたまりの谷の 多の月刈田の水にうつりけり 多の月刈田の水にうつりけり まの値塞月幾く郷やけり 大連 魔部紅花 の月鍋小最製ぶ狐かな 大連 寛 鳴鹿

大二回 特大三回 大二回 特大三回 特大三回 特大三回 特大三回 せるが

出づる國

それは、どうも重ね

の代表石鹼

毛はへ

藥

ンナ禿りす毛で

団科學的經營に據る其價格の低廉

・ 不断の研究に依る其品質の向上

屋見丸〇 京東 商

功:

引續いて國外市場にも活 既に舶來石鹼の防遏に成

市場にも活躍



性 病 物会林友 生殖器障 泌尿 器 電話五二六0番 上醫院

金針他其網金非是ラナエ細

醫西村商會 大連市近江町 電話七六四八番

専の唯洲満一へ店弊の店門

電話四二六四・五八八八番 電話四二六四・五八八八番 キューナード汽船會社 船条業務代理店 朝鮮郵船株式會社大連代理店 朝鮮郵船株式會社大連代理店 中本式會社大連代理店 北張所大連市山縣通電話三七三九番

專廳荷扬所大連市山縣畫 專廳荷扬所大連市山縣畫 專廳荷扬所大連市山縣畫

・ユーナード海船會社 により變更すること有之候 により變更すること有之候 により變更すること有之候 により變更すること有之候

津行

神宮勝玄宮勝玄

丸丸丸丸丸丸丸

●歐洲行[豊橋 丸戸井黄保

近海郵船款出机

<u>₩</u>日本郵船出帆

全 島谷汽船澍出帆

巨大阪商船

大連市三河町二番地 科隆院

青島上海行/磨山 女 大阪商船株式會社 大阪商船株式會社 大阪商船株式會社 東語四一三七番 電話四一三七番 電話三一五一番 電話三一五一番

同朝鲜郵船計山帆

世では、アメリカ経由東京間(無電) 上海長崎間、泥鹽長崎間(有線) 上海長崎間、泥鹽長崎間(有線) 三十分内外で最も確實味を帶び残る 三十分内外で最も確實味を帶び残る 一中さる」と期待されるが、修本源、

ド首相は本日午後新聞記者

五

闘艦お

十五日記者團との會見に際

日支懸案解決の

は今夜の夜行列車で南京に向つた 【上海十五日酸電】電光代理公使 南京行の重光代理公使談 魔公を訪問したが爲めに今後政 際の採るべき方針につき變更を

英首相方針を表明

軍縮會議通信

は挨拶のために 關稅問題其他
然し王正廷氏

【ロンドン十五日發電】日英惠門 日英專門委員

なほ右會談は十七日午後三時代英 なほ右會談は十七日午後三時代英

本調 左近司中將、中村議出席委員左の如し

開後解散戦行の決意は今回の職会手は既に明瞭であり首相の議會再を語ったに照しても政局今後の行

口火を切るかも知れない

全國民衆黨

結黨大會

黨首に高野氏

西部線慰問團

向工場員に野し船田工場長から十 六日第二次整理など絶難に行はな されたい旨申し渡した

の」如くである

訪問に依つて一層力强くなったも

国公訪問婦 ちの事を話したが小橋前文相関 ちの事を話したが小橋前文相関 ちの事を話しただけで將來の事 これでは除り に就ては相談はしなかつた、政 これでは除り に就では相談はしなかった、政 これでは能しただけで將來の事 だ は誰しも認める問題である老公 は誰しも認める問題である老公 は これでは と これでは これで は これでは これで は これで は

日下趙道尹と折衝中 が自治を行ふ の壓迫を斥け

呼倫貝爾都統令息決心を語る

滿鐵地方部

五日消費組合職に代表者出席を水市中商人の代表出席) 開くべく十市中商人の代表出席) 開くべく十市中商人の代表出席) 開くべく十市の場合職ので、商職のでは、

月、鵬飛鶴即題座談會

業務檢閱

廿一日より開始

な

きのふ西園寺公訪問に際し

政情を詳細に説明

備交渉經過並び

1 で、又二十日には無軽及安東縣での 競行するが試験科目は鑽孔、現波 受信、タイプライター受信並に鍵 で、又二十日には無軽及安東縣で

で、交二十日には撫服及安東縣でで、交二十日には撫服及安東縣でで、交二十日には撫服及安東縣でで、交二十日には撫服及安東縣でで、交二十日には撫服及安東縣でで、交二十日には撫服及安東縣で

主當と考へる、因つて記上は一度は其信任を國民上は一度は其信任を國民

第二次整理など

鐵道部長、工場長等語る満鐵大連工場整理に關し

簡じて無い

◆ 市内は露軍の指法後で総で支部 新軍により行政権を保持してある 新軍により行政権を保持してある 大政権を保持してある。 大政権を保持してある。 十六日から政職した大連工場では「既罷の如く懲傷、沙河口耐工場件」「本で開催される郷土回満が、アルリトの整理を行ふなどとは經歴、本で開催される郷土回満メリカ貿易商から多数の要称、マールの人員中多くは自發的感形でと、特別上の整理を行ふなどとは經歴、本で特別十八日から然と「規能し始め時數所信题が、アール以上の整理を行ふなどとは經歴、本で特別十八日から然と「規能し始め時數所信题が、アール以上の整理を行ふなどとは經歴、本で特別十八日から然と「規能したのを選集を行動をといる。」「本で、有業者、を養地方委員職会會の順序は左の如りからぬ物資を微愛した。」「本の表現である、之に動し字佐」「日間常地で開催される郷土回満ンチン等を運搬し個人商店からも、実験道部長及び船田大連工場長は「銀地方委員職会會の順序は左の如りからぬ物資を微愛した。」「本の表現である。」「本の表現では、一、本の表現では、一、本の表現では、一、本の表現では、一、本の表現では、一、本の表現では、一、本の表現では、一、本の表現で、一、本の表現では、本の表現では、本の表現では、本の表現では、一、本の表現では、一、本の表現では、一、本の表現では、一、本の表現では、一、本の表現では、一、本の表現では、一、本の表現では、一、本の表現では、一、本の表現では、一、本の表現では、一、本の表現では、本の表現では、本の表現では、本の表現では、、本の表現では、まの表現では、本の表現で、本の表現では、本の表

海拉爾城內全滅

損害約三千

十一日海拉爾にて 秋山特派員

教八時間係車の後端 | 最長として活動した高橋餘屋氏 が外で保つに至った、紛争當時 を出發した我等の慰 | を撃行し完全に支那軍の手によ

車を課題に迎へいづれも無事で在留民の代表は欣然として我樹

東鐵西部線慰問記

反共產主義宣傳 哈市支那當局が勞農側の

然のことだといふべし。

一政治学師に入るのだから、當

大觀小觀

赤化運動防止に苦心

次して蒙古族に好印象を興へなか が自治を要求。東支銀道問題は、 が自治を要求。東支銀道問題は、 職か風か、二十一日の鎌倉再開

(十七日) 南西の風晴一時最 各地の温度 本天同 八七 同一六二 藤順同 〇四 同 六、一 本天同 八七 同 一六、二 本天同 八七 同 一六、二 本天同 八七 同 一六、二 (戦には一ツの問題が残される大祭)

小學校の入學屆

二月中所轄學校宛に

上人野で可能になるやも知れずとしから同二十日までの間に戸総階の数合

常然の西郷寺譜でだが、時が時 場合が場合だけに、重要意義のあ

特許ハリカ

貔子窩郵便局移轉

東京芝、芝浦二八十後藤車體製造株式會社



合理化 金千百七拾圓

東京十六日愛電 殿に社会 「東京十六日愛電」殿に社会 「東京十六日愛電」殿に社会 「東京十六日愛電」殿に社会 「大キリスト教育年會館に於て舉行 た、出席代表百三十名來朝中の した、出席代表百三十名來朝中の した、出席代表百三十名來朝中の 「東京十六日愛電」殿に社会 「大きりスト教育年會館に於て舉行 を ありて氣勢を影げ驚育には高野治 とした

生産の

清線底券課長その他多数の出逃へ 一年中前八時、八木總領事、取司 五日午前八時、八木總領事、取司 大本總領事、取司 大本總領事、取司

無いのない。またしかでスクカかる私 シク書いの全様した様法を削奪じないから で差上までを発せて、 でき上まると思ます。 私の人 魔法使の様な でにの長い老婆の指が延び、ベル でいると流石に娘のはづかがいらされると流石に娘のはづか

名のモダン娘が腹間に並ぶ、そして老婆はお客に一言も鳴らさせな く

張り込むのだ

、比處までは老婆の

第三流どころの支那版社の廊下を しつこくつき離はれるといふ、二 しつこくつき離はれるといふ、二

電燈の明が上海の街上に駅

た建物に過ぎないが、一度夜の

らっかり飛び込めない

とが田來る李氏館、黄氏館なんでも滑種なカルケチュアーを見ることが田來る李氏館、黄氏館なんで

の職とやつたところは驚に支那ら しい)

外人等によって占額されてしま 大阪の 大阪の

銀道警護器談會の席上におい

支那旅館の

其職を遂行

大規模な物

『あちら』の美人のマッサー

コの蒸風呂

振つた闇に咲く女の組合規則

は、する上に是非心得て置かねばなら、 の手を打つてゐる、野艦が一番解っ できるのに引擎す」とアッサリ洗げ の手を打つてゐる、野艦が一番解っ ウンと共同租界の類にある大世界。

るのである、更に一段高いクラス に遊び道具が完全に設備されてる に遊び道具が完全に設備されてる

おいませう、是非一度トルコの素風呂の氣分を味はつて下さいの素風呂の氣分を味はつて下さい

「動かさせられる、それは外人実女を修な事質が避けれてゐるのに

」と英語で、支那語で、日本語で に関されてゐる、マッサーデが五 能より、浴場が五弗よりと一定し た定價がない事と「より」の二字 がこの美人風呂の魅力を充分背負 がこの美人風呂の魅力を充分背負 がこの美人風呂のを力を充分背負

SH

N G

簡につき種々質問するところあった。即ち砂脈中心地である大連點た。即ち砂脈中心地である大連點には從來何等の指紋態度もなく節には從來何等の指紋態度もなく節には從來何等の指紋態度もなく節には後來何等の指紋態度もなく節といる。 に取論せれば判らぬといふ。 職に招致し、指紋制度の攝張、完 中五日大連署山本総體係員を関東 大連署山本総體係員を関東

新任闘東艦有田保安不完成であり 會のこと」て各出場選手もすでに一、申込粉 三十銭 なは規定は左の如くである 本る十六日午後九時(場所未定) より奉行されること」なつたが、一、申込場所 清洲卓球界に於ける唯一の女子大 卓球協會宛 「・申込場所 清洲自戦社内海州 機の大連女子卓球大會はいよく」白熟戦を瀕ずることと機像される恒例の滿洲卓球協會主催、本社後一緒練習を開始して居るから當日は

山東方面結氷で

舊正歸りの船客ご迷惑

されるが、たとひ飛事課の新設。 ・ なは飛事課新設の時は當然 ・ なは飛事課新設の時は當然 ・ なは飛事課新設の時は當然 ・ なは飛事課新設の時は當然

であるらしく、賞現の鴎は刑事政教係だけは大連署に移管する方針

H

東京十六日發電」宮内省文書歌 原黒田賞氏(ごむは高松宮殿下ョー 高松宮に扈從 黒田氏の光榮

れた、氏は來る四月二十一日膨島 しては全く酸格の光感である、同 しては全く酸格の光感である、同

馬縣前概市瓢屋で整技稼業中、最市内西通三五番地東京カフエー女船が西通四大番地東京カフエー女船

0

小僧さんの書入れ日

けふは藪入り

形事政策上大なる不便を驚しては た、殊に突登重大事件に際しては これがため捜査上不利不便のある ことは住人であつて、陽東應保安 既の指紋係を犯戦中心地の大連署 であった。 関る 手數

ぼる支那舢舨や

平丸船長の語る所によると登州府 上陸の乗客は主としてこの総派を 作成夫の利を占めてゐるのは支那 より三十支里の地甌にある龍口電 の如くであるが、この総派によつ 下入港不可能で、本船なぞは龍口の如くであるが、この総派によつ 下入港不可能で、本船なぞは龍口山東、龍口方配の総派派院は屋郷。龍口港内は総派廷は流派のため目

東原に精願してゐる、即ち現在大

大連署に

らんとするものであるが、將來は

りを統一せんとする方針の下に近一変通事項を管理し全市の交通収縮 で変通事項を管理し全市の交通収縮 で

ける、小い

橋前文相

召喚取調べらる

佐竹氏ご關係を訊問か

結局之を廃止することに意見の一希望條件として提出驗識されたが

致を見た模様であるから近く何等 かの方法によって具體的になって

が、無板は足許につけこんで一人一を感じてゐる り無板によつて運ばれるのである。多く一般乘客は非常な不便と迷惑。

公讀者優待の

集募徒生

學則、入學案內:

東京市本郷元

町

ワイシャッ月賦大廉賣を開始致ました平素の御愛顧に酬ゆべく自家製

に現品を御渡し致じます。直ぐ御申込下さい第一同拂込みと同時

電話は伊勢可山本運動具店五九七八番へ願ひます。
大連市若松町七二番地

簡便 確實 至康

ました『不倒子』は『準備完成』

H

學校

月賦は高い

……の陋習打破

文部大臣指定卒業後無試驗開業

關東

指紋

人連署に

3

巧妙な犯罪手段に頭を惱まして

司法警察に

並女子卓球大會

二十六日、満洲卓球協會主催で

日熱戦を豫想さる

八年目に捕はる 小崗子署のお手柄

幼兒誘拐魔

滿日愛

新去

場日

盛んにこの好機會を利用されたでは、

中特選映畫 一社は特に市内磐城町大日活と折衝の結果、 職者の 学被輸発を行ふことになった。本紙刷込みの職者祭持義者は、は特に市内磐城町大日活と折衝の結果、理秘的映畵服堂たる同館に

階上一般七十錢讀者四十錢階上一般九十錢讀者五十錢一十八日より向ふ一週間一月十八日より向ふ一週間

慶中用化環部新設 特官は襲に維持費の一助として御理解ある皆様に御願いたし各御家庭より生ずる不用品の同下さいましたある篤志家の御後援の許に慶同下さいましたある篤志家の御後援の許に慶同下さいましたある篤志家の御後援の許に慶同用を勤めさせて頂きたいと存じます故何卒御用を勤めさせて頂きたいと存じます。

日報

大連市松林町四六

(発行所) 東京・瀧ノ川町四ケ原一〇七六 青年 志 行 社会 なっかれ事 | 日 ま れなし! 希望者にて申込まのれ事 | 日ま れなし! 希望者にて申込まり、 一番を笑す | 一番を吹っ! 就職権の

十二、三歳迄で)二、三名を求む

働保護會

でさい の常籤番號は當店頭に揚示して御座いますから御序の節錮立寄りの常籤番號は當店頭に揚示して御座いますから御序の節錮立寄り御侍衆 ねの昨年末景品付大竇出し衲籤を致しました時計百二十個

當

籤

番

發表

に御尋ね下さい 盤 稲 橋

煙洋 草酒盤 の店

デワ

ウスー

、保安主任會議に提出される模様 華工即死す 頭で作業中

父通整理の萬全を期し

運反行為を取締る

街頭の殺傷事件に頭痛の大連署が

關東廳へ專務巡査の増員を請願

組織人山東生れ超吉明は仕上工とであるが、十五日午後三時半伊東であるが、十五日午後三時半伊東であるが、十五日午後三時半伊東 在滿の天理教信者が 様 してエレベーターを根 用の穴類作業中異等器内で働いて あた瓦斯酸人が趙の唇根に居るの が不明だつたので過つて運動した が不明だつたので過つて運動した を粉碎して即死、水上署では直ち に係員を振して取職べたが全く過

地職業

御待兼の大連井町製肉所を開発した。

勢ぞろひ春季大祭へ參列

し、遠反行為に難しては嚴重取締 を主體として交通整理の萬全を期 を主きとして交通整理の萬全を期

連署に於ける交通基務員は巡

本様天理教信者約二百名といふ近 のはるびん丸で内地に行く事にな のはるびん丸で内地に行く事にな のはるびん丸で内地に行く事にな のはるびん丸で内地に行く事にな 約二百名が十八日に海路出發 る上春季大祭に間に合はすべく出

タイハンスト

ブ景品抽籤

競するものだと 連鎖商店街

續《開業

東の手速れで未だ全部開店の 事の手速れで未だ全部開店の 事の手速れで未だ全部開店の であるが同事が出版に開店した九十店 であるが同事神所では関東職が追路工 であるが同事神所では関東職が追路工 であるが同事神所では関東職が追路工 であるが同事神所では関東職が追路工 であるが同事神所では関東職が追路工 であるが同事神所では関東職が追路工 であるが同事神所では関東職が追路工 であるが同事神所では関東職が追路工 御

中國總代理店 會 社 大 海市監部通三三 大連市監部通三三 大連市監部通三三 大連市監部通三三 大連市監部通三三 大連市監部通三三 大連市監部通三三 大連市監部通三三 大連市監

東京十六日發電』小概前文相は 十六日も午前十時すぎ東京地方裁 判所豫審延に出頭兩角發案判事の 就間を受けてゐるが今日は主とし て佐竹三吾氏との關係につき説問

來るであらうと

枕ボーイ

飛行帽の二人

八組

先づの慶びは

雑貨商に押入る

美味さ

鳴戸の杯から

芳醇。二重奏

吉野町プラチナ自動車裏

常川川川の番

ゆふべ恵比須町に現はれて

沙河口の強盗と同犯人か

近く廢止か

t

中國總代理店

7.0 話 4309 4702 沙河 19433 夜间 13628

二三一〇二 一一〇一四〇〇五〇五七五 1 〇五八〇五八

りい、要するに錠の割つた風呂で 外人候間には非常な人類があるら

荒川

へあれば!!

B

本

藥

〇各薬店、 別逸隆都博士 エフ・テッナー氏創製 化粧品店、

大瓶金貳圓 小瓶金壹圓貳拾錢

太

作

」の製作に

神樂囃子

金

つねです。

最

者の一人となって出演する。 作権職をドイツ職線に送った野土が破職をドイツ職線に送った野土がでもとは獨軍の第一の時米國軍に登加して米國の第一の時米國軍に登加して米國の第一の時代の第一の

ユニヴアーサルの「西部最線異常なし」では剛役に非常なる苦心を

一覧様。わたし――つれです。最 何健をどう配づって来たのか、 同性を楽地と投媒の狭いあはひへ抱 きこんだ。軍兵の魔るをとして、師 で表現した。 でいるはのがいるはひへ抱

選連館 階上階下と 選連館 階上階下と

「むづかしさらだ。 むづかしいだ

おつれは師館の帶から鐵通しをおって逃手にとつた。

もに補食で窓に松止めと云ふ窓でつて東亜映鑑が入るとの事へ開始りでマートと手が切れるので、それに變めの小泉氏と臓島氏の問題が早くも各方面に無はつて居る▲しかもとの事へ常盤が立つて居る、とにかくお家経動が

ゐるのか、聞き

そのか、聞きとれなかつた。

「お前さんは、あたしの男だよ。

唇が動いたが、何を云はうとして

いつた。

全位の捕車の一脇があてわつといまがつた。東の浦院の近に、被手の 展は、三條京極を六角堂の方へ がつた。東の浦院の近に、被手 兵が、捕物道具飛道具で待つて西の河院の辻にも、検非遠便の 指揮してゐる判官の小串九郎節 監抜けた徒歩侍の学数がその迂いを 茂左衛門が、一瞬「殿1」と叫 いた顔をあげて、



世鍋お天小櫻御 でぶる正定 を動んらの宗食 正定 連物んら

◇ 和舎室文響が、◇ 「おれはブルだよ返卷の頃、カフェはプロだよ、英ツ薬の服よ、重いハンマアは伊達にはふらぬ」、西條八十氏作)からいふ二つの對立した社會にテーマーをとつたる。ので、原作は片岡・淺原、林、岡田氏等の文壇人に日活映畵。山小林正氏が脚色して蔣口健二氏がメガホンをとつた日活映畵。山小林東山大郎、湖花久子等がブロ側に、夏川静江がブナブル的意識と鳴りたりエイトレスに扮する(寫眞は小杉勇と離花久子)十八日とり大日活に於て上映

江戶前料理 (突出付) 金貳十錢 五二 念 金十十五錢錢錢 金五十錢

りあに店藥各

門專科內

前門正場市町濃信番三回三八話電



強推士懷學屬林楷

同同同同同大米米

俵_ 贝贝

白白

Total

SAUCE

する電兵と、都合百人はあつたが たりして、今は徒歩侍十人に足ら なくなつてゐる。しかも、その帰 どが傷ついてゐるのだつた。 矢に追はれて避りながら、師輔 ぐ に追はれて避りながら、師輔

を腰がゆらいだ。師輔自身の馬が いたと見ると一足の所に細い歌路が いたよかに投げ出された師輔。 なと見ると一足の所に細い歌路が があるので、それへ逃げこまうと腰が を立てた。

入れて見摺つてくれる。女のやう。 なのやら なつつと矢だ。太股をを貰いた 世里の名物として有名な「ムーランルージュ」は窓に時世に挑し離れたり其の最初の上映ぶ鑑はフォックス社のムービートン、フォリー スであつた。

突 が態を扱かれて、観察命になった。 お手に追はれ、流させ給ふ途中、討手に追はれ、流

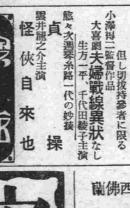
分▲趣味講座の夕△スキー漫談石 東京プレクトラムソサイティー指 東京プレクトラムソサイティー指 塚内木清次 △行進曲 ヤマヲサシ デ、サルトリ作△幻想曲お伽の世 界リツター作(イ)昔々(ロ)侏儒の でて(ホ)バラの目醒△マツルカ舞 にて(ホ)バラの目醒△マツルカ舞 にて(ホ)バラの目醒△マツルカ舞 にて(ホ)バラの目曜△マツルカ舞

大連市西廣場西入る電車通 大連市西廣場西入る電車通

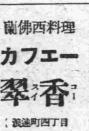
貝 殻 一 平 第二篇 内科專門 村專門 櫻井內科醫院 大連市愛宕町(天金前) 速 館

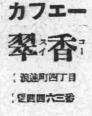


キネマンユース



拾 松林清三郎主演 蘭佛西料理 カフェー





れ 異底のう

味が出ます



0

錠ムー1シルカダブ

むしせ産安に時娩分し護保を兒胎體母

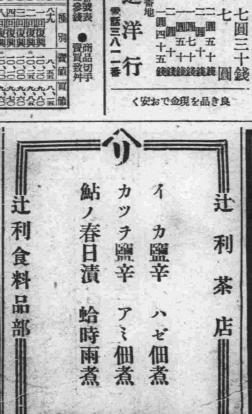
店商助卯田和 町修道阪大 元賣發

フランス川端 いること 益屋

金屬際的









では、この首にからりつくやらために、馬の首にからりつくやらにして、走つてるたった。を握んだ左の腕へ、ボトリーをできな何處を怪我してるるのか、感覚がなかつた。

たが、立代つて、清盛の手勢と贈れて、あからさまに師輔の中車はれて、あからさまに師輔の中車はれて、あからさまに師輔の中車を攻撃し始めたのだつた。清盛晩り上に計つてしまふといふず迷がありた場合は、混亂に紛れて否應なったに違うない。 第の卒みる伏勢と、茂左衛門統率 ができるる伏勢と、茂左衛門統率 ができるる伏勢と、茂左衛門の馬が走つた。茂左衛門の馬が走つた。茂左衛門の馬が走つた。茂左 八條第へ向った筈です。吉朝があ「五平太の艇と、越十郎の組が西 るかも知れません」 「とても近づけないだらう」

な然、金兵衛が「あッ」といつり卑過ぎた。失敗だつたよ」 師職が呼びかけた時、ゆら/ 「金兵衛……」 兵衛の胸板に矢だ、砂根がよらぶ馬が屛風立ちになつてゐる。金

を板焼に響かした。 東亞の團徳麿突如 を経済を 突接子もない笑ひ は外にもらさぬ様にしたいもの▲ をてもスパラシイ宣襲物を色々つ をが、大連のファンを吸收す可く を上映す

東亜時代殿部に在つて「好暗城の東亜時代殿部に在つて「好暗城のはれてゐた殿徽暦はこの程蔵するはれてゐた殿徽暦はこの程蔵するに主滅し、その「風襲つた露風を下が影中の「双影走馬」第一元成を下が影中の「双影走馬」第一元成を下が影中の「双影走馬」第一元成を下が影中の「双影走馬」第一次に残った。 くつて力こぶを入れて居る 館の表看板に学ばかり書いて書の ない時は十銭販行らしい。 ラチオ

十六日か

階下五十級

演題館 所 河合菊三郎、翠糸路助演 監督:筒見豐 高田の馬塔

入御禮のため特に料金普 國館

中六日より

明石祿郎猛演

●場内整理費+銭載きます

十三日より三日間限

更に躍進十七日より

口活

都會交響祭封切

中平遇到三監督

開公日六十々堂

南戦



受験準備物質

16 2

燃料動力

石炭界の展望

山西恒郎

左の如くで

白米小賣値

大連米穀同業組合の一月十五日本の白米小賣倫県地は左の通りまた。一瓜は四十三瓩入、一切三十五八、一切三十五八、一切三十五八、一切三十五八、一切一方面。

では額里振査金を加へ金利コストを 東振の南洋館附約三百萬圓は此の 東振の南洋館附約三百萬圓は此の 東振の南洋館附約三百萬圓は此の

况

一時選近せしめた結果である。

は、今年度産北満大豆で最も良好にた。 の最どられた地方は、哈爾賓地方を の最が、祭門驛附近、安達地方を 地方の大豆に土砂の混入さへ少な ければ非難の打ち所のない實に実 の最上位のものであると云つても

三十萬二千七百噸

出廻りは増加 品質は稍々不良

放に吾人は此の石炭危難の個門を破するの費服の人間を行って、 無知養源の最大最上の效果的使 既知養源の最大最上の效果的使 既知養源の最致については所謂地質 整の力に俟たざるべからざるも のであつて斯は他日の機會に融 ることゝして、こゝには既知養 源の效果的使用に就て叙述する ととゝしよう。それには先づ石 にならぬのである。此の未知 を使用消費の方法としては科學 がらがでなければなら ないよいよとであつて、運搬 をいまして、こゝには既知養 のであつて斯は他日の機會に譲 をいまして、こゝには既知養 のであつた後とであつて、運搬 をいまする。 といよりには近知者 である。 なられては、 のでありた。 をいまする。 といよりには、 のでありた。 のでありた。 のでありた。 のであり、 のでなり、 の 情報的ない。 個別的特殊的な事件であるが故 個別的特殊的な事件であるが故 に、撃ろ今後の問題として擧ぐ べきは、其の利用消費の方法で なければならないのである。現 在其の研究並に實行の並行的過 程にあるものとしては、獨逸人 ボーギウス氏の「石炭液化の方 法」(ボーギン油)フイシヤー氏 の「シントール製造法」(揮發油 代用の合成燃料)或はペッヘル 氏の「石炭液盤の方法」(「理砂油 であるが、是等は では、選問の各特 性に變形精製して使用せんとす るものなのであつて、こゝに石

元(十六日) 三、二四〇枚 三、二四〇枚

一九二四話電

良い醤油は・

中央公園水梁門停留所前

神戸豆粕

海事行 海事法令の 大連商議から陳情拓相、關東長官宛に 関を惹起したり這の種の事様は 所地においてはその機限を市町 方が単に置続地管海官廳を異に する故を以て本邦船に對するが如きは本邦船 が関船に對するが如きは本邦。 で下所庭管海官廳の如何以に非す 後で所庭管海官廳の如何以に非す 後で所庭管海官廳の如何以に非す は相互の利便たるべし ば相互の利便たるべし でで、豪麗又は関東州 の統一

経濟状況 奉天の金融

満蒙投資者を

主に渡滿實業團

關西方面からも参加

同值桃 151°00 150°00 151°00 151°00 151°00 151°00 151°00 151°00 151°00 151°00 151°00 151°00 151°00 151°00 151°00 151°00 151°00 151°00 150°

排日の本場で

日本貨幣を歡迎

をは、 ・ 本は、 ・ 、 まは、 ・ 本は、 ・ 、 まは、 ・ 本は、 ・ まは、 ・ 本は、 ・ まは、 ・ 本は、 ・ まは、 ・ 本は、 ・ まは、 ・ 本は、 ・ まは、 、 まは、

檢查一樣

等一风

銀貨暴落に弱った

延吉縣政府が日貨で徴税

近く人選を終らん

日憲に附與又は委任せ 設海難認證權を主要客 記書に附與又は委任せ

本邦船舶の海難認證權を主要寄 本邦船舶の海難認證權を主要寄 市、所屬管海官廳の如何を問はず 本邦船舶の船員雇入區止の手續 受理權を主要寄港地所在官憲に 所屬管海官廳の如何を問はず 本邦船舶の船員雇入區止の手續 受理權を主要寄港地所在官憲に を滅洲に招くため張敏良氏の依頼 を滅洲に招くため張敏良氏の依頼 た
を一株につき
三國に引下げ

新殖金融 拓殖金融

炭の今後辿るべき運命があり暗 一大は石屋界の消息がこゝに基調する のであることを信ずるのであ る。

五千枚

四八十二兩四八十二兩

〇六六五〇

地場弱保合

電話二一三二一番地大連市西公園町一三一番地

新東{引10m, 42

支店所在地

范家屯、長春、吉林、攜順、**本溪湖、安東、興隆編** 金州、普觸店、貔子窩、鞍山、奉天、小西陽、公主

朝各煖石 種房綿 日 一用製

石一保各

パツ

突グ式グ

煙

2

在庫豊富多少に拘らず御用命願ます

電話。園芸が公路地大連市榮町十五番地

(日下金)

資本金

壹千

萬

大連市伊勢町六十九番地

印刷

オフセット

戲福昌公司自動車部販賣所

東亞印刷輸試大連支店

大連市近江町

格安中古品在庫

秦 昌 洋 行 報告 東 次 郎 大連市岩狭町三番地 大連市岩狭町三番地

熱狂的歡迎拾版

來

井上準之助氏著 送料拾錢 中型

妖雲は晴れ、 經濟的大轉換期は遂に來る。陰慘十有三年に 白日始めて輝く

町量鉗南播京京東 行發社本日之業實 (番六貳多京東蓄振)

として全國民に贈る。 憂國愛世の眞情を吐露し、この一書を記念 著者はこの歴史的大事を遂行するに當り、

内 安 醫富 3

幡

頭取

振替(大連)三三〇番 電話(代表)四二二番

满

程中區車電町渡信市連大 番九五八四話電

大連案内所で御旅行の事は

プリムス・其他各種

110

100

90

80

60

50

30



寝る前にも必ず ライオン協
磨を 歯を実しくする為めに

後後の前』とに、お使ひになるのが最も良いが法で御座います。 機的離婚として定評あるライオン強虐を『朝祖きた時』と

お使ひ下さい

解散の出鼻を

に對する國民の

挫く政友の秘策

日支經濟提携の

間の興味

昭和五年に於ける號支間壁は極の地位にとりては、多大の利害をあて多事であらうことは何人も首及である。関東州管内の製力の人産は後の昭和戦争所の設立をも同く溝壁交渉、等々々、高して日何によって左右されるものと思考と多通路條約の改正と、開機問題、 これらは一つに此の開税問題の如 て、
は不可分のものであって、直接の
まと参響とを刺ることは何人も首
を理すのである。関東州管内の製
は不可分のものであって、直接の
まと参響とを刺ること、開機問題と
される。
まが外務監局に及ても配り、
まのは
まの

的地位に境器して得たるもの、若生の不默等関係は主として、日渚の成役の結果、他國の不默等の成役の結果、他國の不默等

らめのである。

では、
 では、

支那海關金制度

を 【上海特徴十八日酸】 図民政府が 職権を金制度に改め金紙幣を毀行して 機場落の対策として海陽税の徴収 間

金本位制實施の準備

目的

R版し輸出税を免除するこ 地出する場合は大連を外國 が地より洋式網械製品を大

識したが、右に関し確

なる筋よ

について山口交通部委員長より歌り、日程に入り「海事」との報告あり、日程に入り「海事」

を期すべきこと 対

ることを承職した、次に の決定通り石に関 長高 の決定通り石に関

並に關稅同盟の利害

も自然にその設立さるべき場所の なされつゝあるのであるが、之れ が解決如何によつて襲鏑所の如き なされつゝあるのであるが、之れ

『東京十六日發電』滿蒙に於ける日奏經濟影響を自防とし我實業處の離漏れの決定を見るはずである。 『東京十六日發電』滿蒙に於ける日奏經濟影響を能してゐる。此外日華實業儲會では近く大阪の希望としては一葉一人主義を以て選ぶことを欲してゐるので懺頭淑讚の上大體現在滿默に松春せるの吊琴家を主にし之に歸西方配の電氣家をも加へることになってゐる。此外日華實業儲會では近く大阪の野歌を主にし之に歸西方配の電氣家をも加へることになってゐる。此外日華實業儲會では近く大阪の事業を表示した。

金で徴收せよ

の輸入税

―二月一日より實行―

四分五厘から四分に影下げた四分五厘から四分に影下げた

國民政府十五日發令

入連商議

政府側、怠らず對策を練る 總選擧投票日內定か

及滿實業家の

滿蒙投資家

を主とす

張氏は一業

一人主義を希望

者に語る 園公訪問は昨年八月以來の事で あるが別に用件があるわけでは ない、新年の挨拶を申上げるつ もりであるが辨談には種々の話 も出ると思ふ 列車で西下したが、車中住跡の記 國公訪問の爲め今朝十時東京隣で『國府津十五日發電』張口首相は

拓相は斯く語る

滿鐵の行政、外交問題

昭和製鋼所問題について

本品がする。然し時間が有るか無いかはその時、その場合のか無いかはその時、その場合のか無いかはその時、その場合のか無いかは、反響点が二十日の大會又は護場に一般で政府の政策に追従するが如き態度を明瞭にした場合に於てき態度を明瞭にした場合に於てきれば解散の決減であるが之も失張りお答への限りではない 五日午後一時五十六分影階略讃特 本選事の準備を進めてゐる 正式決定を爲すことになる複線で正式決定を爲すことになる複線で正式決定を爲すことになる複線で

松田拓相は世間の誤解を解く意味閣僚および似石總裁の會議につき 『東京特電十五日發』十四日の五

葉山に伺候 日發電』渡口首相は來一

「ロンドン十五日發電」米全権」と同時に若槻全権は更にスチュッでは十七日常英するはずであるが、ソ氏とも豫師叛安勝を持續すべておより、大使を通じスチがくて帝國の主張を英、米各別に教を言目も込んだ。 できずとか成功の総に附かしむべ、衆音の主張を英、米各別に教を言目も込んだ。 つきずとか成功の総に附かしむべ、衆音のを言いる。 豫備交渉持續

新米買上げ

つた

和蘭中央銀行

領開會のことに内定した 領開會のことに内定した 第1、十日大連へ出張の密 高東歐維那は中田事務官は滅縁の 開東歐維那は中田事務官は滅縁の 衛生委員會延期

関東原山中商工主任は十五日大連、 東他に於ける今般の銀製落による。 下は警戒官しく、擔件掛資主義を とつてゐたので輸入商大手筋を初め要地商人等も感で輸入商大手筋を とってゐたので輸入商大手筋を初め要地商人等も感ど損害を立て を見てゐるが、他確安那商相手の取 を見てゐるが、他確安那商相手の取 を見てゐるが、他確安那商相手の取

一大三一五六

る由

O BIIIIO 四四七〇

銀安に

邦商打撃少し 因

> 二二五五五 一八六五

『東京十六日發半』支那が海陽衛 「東京十六日發半』支那が海陽衛 「中である、即ち陽及して我國として我國として我國として我國として我國として我國は相當 では、上本質的に見て支那政府が緩 に関する事は、已むを得別するに決した。 「中である、即ち陽稅自主權を認め ない今日に在つては尚続いる。」 があると

間本社会議会に於て本年度少數校 目か、世四日公野堂、小野校、十三日公野堂、小野校、十三日公野堂、小野校、十三日公野堂、小野校、十三日公野堂、小野校、十三日公野堂、小野校、十三日公野堂、小野校、十三日公野堂、小野校、十三日公野堂、小野校、十三日公野堂、小野校、十三日公野堂、小野校、十三日公野堂、小野校、十三日公野堂、小野校、十二日より三日

會議小學校長

現物後場

無駄で、あらう

は、實工をでつたことはない、最近、内政も外へでも一様に経済化されて行くです。

議會解散の時期なぞ

外の時でない

日英豫備交渉の内容は話せぬ

園公訪問の首相車中談

濱口首相

等の理由を擧げて政府は解散の賦 常有力に行はれてゐるので、過版 整理なに掲言解し、或は耐三日 を選ぶに相言解し、或は耐三日 で乗ずべき解 が相 で乗ずべき解

南京政

府の

協定不

自認の眞意

豫備協定に譲步した點を

収戻す爲の駈引か

米國全權に對し

内交涉續行申込

我全権下大使を通じ

百二十四萬圓

政治の經濟化

自動車で富士職に到り午後五時代を強誘、取締問題機過その他内外と設置し、中間二十分にして四時退取を求めている。以下のは、取締に、のは、取締問題機過その他内外、

政府攻撃を策す

職代調査委員会 「東京十六日愛電」開税調査委員 会は十六日午前十時半より続相官。 「東京十六日愛電」開税調査委員 を記すった日のでは、 ののでは、 ののでは

『北半十五日發電』 閻縁山氏は唐 生智問題が一切解決したので十五 生智問題が一切解決したので十五

貴族院の政友系議員

合にて貸すべき施政方針流影響下に採腸傾付けられ休餉園

上し佛下職に奉答し即日暦京

を響である

閣氏近く思

強晋

選舉準備

政友會の

「東京十六日發電」体會明け議會をを目前にして貴族院舎派は勢頭のを目前にして貴族院の一部に於ては一、野黨の無抵抗主義態度に對したき解散するならば組網直後に行ふがきで金解禁の重要問題を少數策で金解禁の重要問題を少數策に在解し得ざる以上無責任で問題を必要を記している。

田邊代議士失格
田邊代議士失格
日左の如く愛表した
新潟縣第一區選出議員田邊能一
は米議院議員富選出議員田邊能一
等件につき十一日大審院に於て
判決確定の結果退職者となりた
を

改正案可決

支那を教 ふためには之よ

教育關係案と共に

十五日の樞府定例本會議

り外に方法はないとされ我國の當 地駐在關係航でも非常な注目を概 が、議する 我大蔵省の見界

た

東廳官制

社

說

的色彩を帶びたものが大部分を占する政策を見よ、經濟的又は經濟の看板と間壁である、試みに政黨の看板と経濟を見よ、經濟的又は經濟等の

意見の持合せがなければ上京しても無意義だ、また餘程専門的であるからとして着手されるのであるからで、また餘程専門的でも無意義だ、また餘程専門的であるからであるがらいまた。 東州内に設定方識頭のため二名は藤田工業部委員より戦明あり

開会立と 関税を徴税し之を 関税を徴税し之を 関税を徴税し之を

をないでも小銃を強いに足りる をないない。カナダ政府は小いた。十四歳の彼は詫されて族類に足りる。 をないない。カナダ政府は小いた。カナダ政府は小いた。カナダ政府は小いた。カナダ政府は小いた。カナダ政府は小いた。カナダ政府は小いた。

アラン・マタナブ

彼の父は陸軍の一下緩將校であつンタリオ州ナイアガラで生れた。 オーカス年、オータリオ州ナイアガラで生れた。

阿片自殺に叱られ

佐美滿綴鑼道部長 十四日歸

城內財界動搖圖

英國植民地功勞者列傳

巡警を狙撃

怪支人が

い競馬

發展策

私案として

是は我が國の法律に依つて殿に

支那側の満鐵炭需要 例年の約三割減 不景氣で工場は休業

れたる関東山大 一を変革せし 大なる関東山大 のである。

は 現今我が関に於て實施せられて居さ る馬数法は佛國のガニヤン式である。 大連に於ても現に同式を實施として居る。故に茲には詳しく證明 を要さない、即ち第一層場にのみ

戻を行ふ ものである 共闘祭を所有する人に

土叉は華人の観魔者を多くするこれがは達せられないと思ふ、特に納

現在以上の 發展を期せのである、然れ共

ける意思の歴史に徴して明かなる ことで今更茲に課えを要しない。

の競馬は南滿洲に

是れなければ戴馬は毫も發展しなくべからざるものであって数馬の 興味を唆る所の唯一の方がである 興味を唆る所の唯一の方がである

| 一巻し其七朝が至入館は | 時年阿片を多量に嚥下し何知ら 花筋消費量は年線約五 | 子陽二女小様でもは十四日午前 をの様子が全く變つてあるのを家 人に發見されそれと知つて直に膨 が十五日午前三時質違に絶命したが十五日午前三時質違に絶命し れてゐる

▲吳錣城氏 十五日朝北郷線にて北平へ

は希望者により自動生を認めて養 をは希望者により自動生を認めて表 を心とする内地各大野との歌絵を を心と取れてあるし交像來の如き を心と取れてあるし交像來の如き が年間も短縮されそれ以上研究せ めの試験を撤離しまら生徒の自由 が完全く趣味をおます。 なになったのだ▲故に今後の生徒 は後間と全く趣きを異にしたない。 は後間と全く趣きを異にしたない。 は後間と全く趣きを異にしたない。 は後間と全く趣きを異にしたない。 してあらゆる方面に得意する接帳 ▲折角数悪のため生徒は一層自軍 ・ 大田のである 水道局新課稅

町の便

の採氷百斤に對し一分 の採氷百斤に對し一分 の採氷百斤に對し一分

閉店通告

吉

た 國際運輸支店の苦力はこの際相當 ・ 関係運輸支店の苦力はこの際相當 ・ 関係運輸支店の苦力はこの際相當 ・ 関係運輸支店の苦力はこの際相當

れたカロライナ號はナイアガラ河 の無端を避つて製布から落ちて続 の無端を避つて製布から落ちて続 八年に至つて全く鐵整されたが、

うな趣きを後に感じるのは、一は る事件であるが) でき奏快味、晴れ渡つた秋空のや 話(選話といふに がき奏数の事實を見るのだが、そのい 師(クヰーンス・

社名改稱等附議

(會を開催し左記の通り總會を開地精洲電氣會社にては十四日重)

来る十九日午後一時同社内に於 来る十九日午後一時同社内に於 不多十二回定時來主總會を開 個上營業決算報告並に利益金處 分案承認の件、配音後川島定兵 個氏任期滿了に付選擧の件、前 社長及常務取締役退職に付繳勞 金贈呈の件(社名を開原電銀來 式會社と改稱、決算年度を三月 九日に變更等による各條を變 回線株式配書は一棚二分の確定

一豆粕取引活況 新春以松末曾有の銀の樹帯は郷商 順に有称に駆回し邦人輸出商は松 明本の安静を買って銀費金 の製剤を製って銀費金

を対している。 を対しているが、会をは、 を対しているが、のであるが、 を対しているが、のであるが、 を対しているが、のであるが、 を表しているが、 をまたが、 をまたがが、 をまたが、 をまたがが、 をまたががが、 をまたが

巡捕殺しか

容疑者捕はる

藥學博士工學博士高峰讓吉氏發見以來三十餘年、今や消化 酵素の實庫として聲價彌々高し

(1) 消化不良に因する總での胃腸疾患 (2) 經力性胃弱者 (3) 結核其他慢性病者、重病恢復期等苟も食慾を亢進せしめ、 消化を佳良ならしめ、榮養の増進を欲する凡ての場合盛に 賞用せらる

支那級の需要増加し來り現今では、悪なるため全く踏みられなかつたという標である一方炭質薬・を記し昨今一日の夏込みは千五百・

と喧嘩をなし母親から强く叱責さるが十四日午前入時頃小里は弟 だものであると云はれてゐる

吉林市政際所属長網臨春氏の計畫を介書に係る吉海線總難と吉長城吉林縣 か年計畫で着工に決したと、因に東は新開門より城内各郡を継で計畫は省政府委員、江門に至る一段は道幅五丈六尺、 選が門外より吉海總職に至る一段は道幅五丈六尺、 は近門に至る一段は道幅五丈六尺、 は近門に至る一段は道幅五丈六尺、 は近門に至る一段は道幅五丈六尺、 は近回に至る一段は道幅五丈六尺、 は近回に至る一段は道幅五丈六尺、 は近回に至る一段は道幅五丈六尺、 は近回に至る一段は一段に対している。 一大馬路を開究中であると 下百方着後策を講究中であると

又、赤に追はる

宝崩込む

長

白系露人 長春へ舞ひ戻る

要あり到底經常しきれない部りで改修を始め職業の本工事をなす必改修を始め職業の本工事をなす必要を対め、 回するだらうと見做さるAに至っ 脚電際の簡潔が完了すれば再び撤 では存置の意義を失ふに至るので出 は存置の意義を失ふに至るので出 は存置の意義を失いに至るので出

山縣幹事四年度の會計報告あり、別職等の際につき金額を持ち返し、川村會長り實業協會に於て開催、川村會長の開発をあり、

無順農會總會

輸入組合

役員の改選

大石標準へ、組合設立に関しては通光大石標準へ、組合設立に関しては通光を開発を得て十三日順石したので十六日午後一時より満磯俊樂部で決定に於て創立總會を開き役載の決定に於て創立總會を開き役載の決定に於て創立總會を開き役載の決定に於て創立總會を開き役載の決定に於て創立總會を開き役載の決定に於て創立總會を開き役載の決定に於て創立總會を開き役載の決定

創立總會 整子窩民政支髪線 を選が減兵衛氏同地方僚主任に転 を選が減兵衛氏同地方僚主任に転 を選が減兵衛氏同地方僚主任に転 を選びかま任の転任の長谷場機氏 は十二日午前何れる家族同代財社氏

した 田邊署長歡迎會

十四を市民會練養部に審附した不順作 日華館民合同にて昨平六日午後五日華館民合同にて昨平六日午後五年の支配長の登価とした内外に対する石順作太郎氏の後低として御支店長より青島支店に一般に対する石順作太郎氏の後低として御支店工場長南日殿吉氏が就低

官私印偽造公和文書修造行使詐欺 官務即し、事件は益々擴大する模様でその被害觀も六七萬圓に達す るであらうといばれ一般より注目

轉勤者赴任

では其第二回にて大石を開始した。 一方語では集集をなり之に軍滅官御婦人所の他地が主となり之に軍滅官御婦人所の他地が上となり之に軍滅官御婦人所の管理をし事とて開催日の一方語で軍事を登録とし事とて開催日の一方語で軍事を受ける。 一方語で軍事を受ける。 一方語で軍事を受ける。 一方語で軍事を受ける。 一方語で軍事を受ける。 一方語で軍事を受ける。 一方語で軍事を受ける。 一方語で軍事をし事とて開催日の 一方語で軍事をのに軍滅官御婦人所ので会 を持ち、事か所長夫人の開催日の の開催した。 一方語でのに、集まるの関係をしまり、 一方語で国際に、集まるの関係をしまり、 一方語で、東東教の「整臓」と、 一方語で、東東教の「整臓」と、 一方語で、東東教の「整臓」と、 一方語で、東東教の「整臓」と、 一方語で、東東教の「整臓」と、 一方語で、東東教の「整臓」と、 一方語で、東東教の「整臓」と、 一方語で、東東教の「整臓」と、 一方語で、東東教の「整体」と、 一方語で、東東教の「整体」と、 一方語で、東東教の「整体」と、 一方語で、東東教の「整体」と、 一方語で、東東教の「整体」と、 一方語で、東東教の「整体」と、 一方語で、東東教の「整体」と、 一方語で、東東教の「整体」と、 一方語で、東京、 一方語で、 一方

大原生の場所には、 ・ 大原生の場所には、 ・ 大原生の場所には、 ・ 大原生の場所には、 ・ 大原生の場所には、 ・ 大原生の場所を以て自住する。 ・ 大原生ののの本業生を送り出し、 ・ の五日本人際生もあり年々増加し、 ・ 大原生の場所を説がすが、 ・ 大原生の場所を説がすが、 ・ 大原生ののので、此の際、 ・ 大原生ののので、此の際、 ・ 大原生のので、此の際、 ・ 大原生のので、此の際、 ・ 大原生のので、此の際、 ・ 大原生ので、此の際、 ・ 大原生のので、此の際、 ・ 大原生のので、此の際、 ・ 大原性のので、此の際、 ・ 大原性のので、 ・ 大原性ののので、 ・ 大原性のので、 ・ 大原性ののので、 ・ 大原性ののので、 ・ 大原性のので、 ・ 大

部有識者間に

いうちで **久澄事件擴大** の模様

知事會議 城

一厄介な男 まる十三日多額 (本のであるとは厄介な男であるとは厄介な男であるとは でかな男であるとは でかな男であるとはでかな男であるとはでかな男であるとはできなります。

中後九時解散した 一等し開催された總裁代理林清勝氏 の繰拶あり竅に移り順る艦裏廻に 中後九時解散した 方蔵から仕入れた野梨雞が凍結し 長春市場會社は昨今の熟練で南瀬

七時より實業會堂に於て催し協議事進行したが発練き十六日午後とり實業會堂に於て役員會を催したが発練き十六日午後 果子組合例會 鐵山縣子 年團協議會

商組合では十七日午後七時より北二線町巻見堂小川氏方に於て例會を儲し原料品仕入其の他の件に記き協廣し終つて新年膨現會を儲し 五十パーセントまで置り物にならぬので目下凍腐防止装置を硬実し

長寬支線

議支統非常時武装卓跡の耐服地通 通阻止問題に業を煮やして支那側 が勝手に敷設した寛城子長軽間の 東線支線は一部軍隊の輸送に奮っ 東線支線は一部軍隊の輸送に奮っ

婦人互禮會 石

昇格希望の

安東卓珠俱樂部は昨年中秋期大会 を開催豫定のところ種々の都合によって延期中、各チームの練習も よって延期中、各チームの練習も 大会で本年第一大大会を来る二 十六日の日曜日に開催する事に決 定、幹部の間に避備中であるから で、幹部の間に避備中であるから

は二家で毎日一回運転では慈城では一事運動につき其筋に許可方出職中に開始の筈である、使用自動を計可され数日 中に開始の筈である、使用自動を計可され数日 中に開始の筈である、使用自動を計可され数日 卓球大會學行 來る廿六日に

スケート會

れるものと聴られて居る 自動車を運轉 鴨緑江に水上

整準備されて居たが比較倉庫祭製業を日本を開設し鮮農設策並に大製業者の利便を置るべく計 而してこの活形はコ、暫く持續さ 製造に京稲の取引に活地を 製造し十三、四日の兩日中に豆粕大 のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般の一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、 のでは、一般のでは、一般のでは、 のでは、一般のでは、一般のでは、 のでは、一般のでは、 のでは、 のでは、

南

(79)

が出来てゐるのである。か出来てゐるのである。

着眼したのは平思議もないが日本が之に代つた時に於て依然としてな初代懲戮の摩斃としても遺憾としても遺憾としても遺憾としても遺憾としても遺憾としても遺憾としても遺憾としても遺憾としても過ぎ取の勢力は今日の如くならず日の散後の日本は優越鞭を過信しているのと思はるムが、今

て居つた爲めに中國官職の勢力を 日より之を見れば滿鐵本社を率天 に置き、總領事館に陽東廳の都織 の一部を加へ中外の事情に隔通し の一部を加へ中外の事情に隔通し を選び強行る決心を以て吾が同胞 を選び挙げる決心を以て吾が同胞 を選びが、今

あつて

天に移轉せよ

年頭所。

巴

の豐作と様せられた一千九輪入額六十萬石を下らず、

が島民の氣質に適するからでもあと異り、耕作に手敷を要しないの

五 英處には膨澱な天地と鸚鵡な土曜 から移住した馬

ち、優に自給自足する、大抵年二回の収穫を

多い、試みに最近五ケ年間の砂なは底の栽培に配いての改良脈が、これ 何等苦痛 なきを思はしむ

中東洋では殆ど総てが米食関民で中東洋では殆ど総でが米食機に関いが、説

連賓な椰子樹

在 本二十萬の同胞が夫々其の職務 に勉励することは同胞の満蒙養展 に強励することは同胞の満蒙養展 が一方、満洲は今や がなる危機に親し日々に要録に がある。此の局面を打開す は駄目である、智は擧國皆兵と云るには外交當局にのみ賴つて居て

カも一効を導げることは出来ない で質の日支基機を行はねば百の努 政治的訓練を し奉天

ニリットル場

話

頭

痛吐力

服で充分です

ると同時に率天に於て中心勢力の解決必ずしも困難でないと信ずる。今日の如く膣かに率天に終する。今日の如く膣かに率天に続い、大阪朝日の下村博士は露園の支配階級は六十萬人で支那の支配。 の窓々たる、日本人は敷に於て優 の窓々たる、日本人は敷に於て優 いまが説し得ると思ふ、支那人が小 に獣がし得ると思ふ、支那人が小 あらうか、在補日本人が協力一致其の四十萬の内滿洲に何人居るで 谷ヒゲタ醬油 リットル場詰 京品附大寶出中

歌目である。 歌目である。

銚子

酱油株式會社

ないのである、是は獣内的に見たたいのである、是は獣内的に見たに残って各就の活動を織けたいのである、是は獣内的に見たたいのである、是は獣内的に見た

表したが、それに依ると死刑百二 表したが、それに依ると死刑百二 を当時間で處理した即賦件數を發 を当時間で處理した即賦件數を發 を対したが、それに依ると死刑百二 が兵隊四十名を率めて追跡し競見 大狼狽▲局長尹連元は即時騎馬除縣城公公安局に援助を請ふといふ 母體に蛔蟲

東天政権を最高と言うことを歌中國の関係に 東州人は民國以来民有民權と稱し 民權思想に關られてゐる標である が、官權に難しては未だ背目的な が、官權に難しては未だ背目的な が、官權に難しては未だ背目的な が、官權に難しては未だ背目的な が、官權に難しては未だ時日的な が、官權に難しては未だ時日的な が、官權に難しては未だ時日的な が、官權に難しては未だ時日的な が、官權に難しては未だ時日的な が、官權に難しては未だ時日的な が、官權に難しては未だ時日的な



星連第次越申御リカ子册るす題と『最炯いしる恐』

羅紗小倉厚司 華手現金卸賣

ム手候は贅沢品ではなく 程濟上実用的日用品なり

知

家門分門全 質め細胞の仕事が出來且保温の質め「ラクグ」

00-11 00-1 0W- 011-

九九七 英御。毛製

歳の三幅揃 着

信濃町市場本 たします

てマルセルン石絵同質の優良品にして使用歪つて糖便動 毛糸 缺ぐべからざる必需品なり 毛織物、

絹物の洗濯に

大原式羽毛蒲團購買會募集

H316

大原商會大連支店

では大路が

六ケ月満了

製造元 等月市二番町 (鉄) 新戶衛生實驗所



乳兒綠便・小兒下痢等に對し 消化不良·鼓膓·常習便秘 及び豫防効果を収むるのみならず、

一本御買上げ毎に

生理的機能をたかめ、消化を進め、自家中 すから健康増進劑ごしても質用されます ピオフエルモンは安全且つ確質なる治療 膓の

(定十銭の品)

是是

知名楽店にあり。」

え物してお家に踊つ

太郎さんは、

観客に交つて濃鏡を見つめてゐると、白いむく水気薄々、百智調々とでも云ひませうか、すば

恩給電話九八日

螺形型 1.20

河村清

話ある至急闘れ

天まで届いた高下駄の話

西元詩

話童賞懸一選入等三一

太郎さんが見て、思はず翫出し

ありませんでした。 太郎さんが製で居りますと、 本の蛇の事でした――。

た。そして太郎さんに

りません。手足が冷たら手足せたり『溺タンポ」を入れて

(うちの子供は大正十三年四月)

せて置かなければなりません。

たづ戸鎌謄本かっ もづ戸鎌謄本かっ

合しそれが無ければ原籍地の円籍謄本か又は抄本がいりま

服ませて通じをつけることです。食べたと思つたら「ヒマシ油」を

期間を題くしたのださらです。 本年は整機線側の都合上申込みの本年は整機線側の都合上申込みの

大學が出來ません。

一人申込みはどんな風にすればよ

月二日以後に生れたものは本年はでに生れたもので、大正十三年四 月二日から大正十三年四月一日ま

とであります。殊に、不消化物をセリンで確賜して便通をつけるこ

らよいのでせう) 元日に小壁校長會議を開いて協議。 元日に小壁校長會議を開いて協議。 一大連谷小壁校の入野申込受付は十二日 日本に外壁校長の入野申込受付は十二日 日本に対している。

らよいのでせう) り本年の壁織児童は大正十二年四と思ふのですが、いつ申込んだ 生れたら来年に廻るのです。つまと思ふのですが、いつ申込んだ 生れたら来年に廻るのです。つま

でゐる子供の

る 及び肺炎を起した場合は臀師の指 でら取り除けてやるのです。 たら取り除けてやるのです。 たら取り除けてやるのです。 一時湯タンボを入れて暖かくなつ たいから、 扁桃腺炎や氣管枝炎 でするが脱野であります。 高勢のとき氷枕を以て頭部を冷がいますが「サムケ」のする時はサームを以て頭部を冷が見れて質がなりて頭部を冷がります。 高勢のとき氷枕を以て頭部を冷がりますが、「サムケ」のする時はサームが見れて調節を冷がります。

をですと重湯とか牛乳位にして、母のですと重湯とか牛乳位にして、母のですと重湯とか牛乳位にして、母のですと重湯とか牛乳位にして、母のですと重湯とか牛乳位にして、母のですと重湯とか牛乳位にして、母のですと 多の家屋内の選は多いものであった。 でことが必要です。一般に室が乾燥 さことが多いのです。それ故、室内 のを掃除するときは窓を開いて拠別に罹る を掃除するときは窓を開いて拠別に罹る を持たするときは窓を開いて拠別に罹る 風邪を引くことが多いから注意しきかなくなり部屋が急に冷てよく 法に注意することです。それ

もつ母親が流感にかゝ 其影に入れぬやらに

ド アラハレタカラ デシ

ミルナリ

大チャン

*

ガニウワバ

コレモ「アツ」 タタマシイ

イツテ

オドロキノ

7

ウシロ

7

三河町入口正原

大口管金及手形物引 ・ 実護町製海ビル前十年社 ・ 電話七八八一番 電話七八八一番 電話七八八一番

アゲマシタ。ウワバミノヤウナモノ

ガイヤニ

女子度履際書

一覧車通 大連家 大連家

ヒトノミニ シャウトシテ

#

大チャ

1

モウジ

ウ

ガ

IJ

(6)

ジハ

ラル

満

日案内

電話

生花

萬年青年

電五四三九

信用

ウ

間に合はなかつたら申込みは出し申込みの時までに戸籍謄本が

して置いて、あとで提出するやう (入學申込みの書式はどんなに もかまひません。

學齡兒童

0

へ學申込み

についての心得

れることになつてるますから配印だけ持つて行けばよいのです。但だけ持つて行けばよいのです。但だけ持つて行けばよいのです。但だけ持つ、歴業、児童と保護者と所、姓名、職業、児童と保護者との関係、戸主との関係、種痘の回 にして て事務員なり係りの者が書いて吳申込用紙は學校に備へつけてあっ 一(申込みの時には子供を一緒にして置かなければなりません。)数、既往症等についてわかるやう 献は學校に備へつけてあったらい」のでせう)

は其の際入學兒童に動し簡単なメからも必要ですし、學校によつてからも必要ですし、學校によつて置く上 子供は是非連れて行かなければなか) 連れて行つた方がよいでせら

小野校となる器である 電してゐた伏見豪、沙河口、南山 では、沙河口、南山 教育及兒童圖書紹介 京天文豪、電燈の穀達、理學の 京天文豪、電燈の穀達、理學の 發達と國家問題、我が學校園の ▲ローマ字の日本(一月號) 國字改良の精神、現代日語文の映画について、無駄話等(十銭東京について、無駄話等(十銭東京について、無駄話等(十銭東京について、無駄話等(十銭東京について、無駄話等(十銭を)

宿料

美
勝町九五貯炭場

合百事吟饌永滯

一

(世馬町 泰三商會 電七九九三 藤永治療所 電話七八五〇 藤永治療所 電話七八五〇 藤永治療所 電話七八五〇

家政 身元確實 身元確實 一日的公營國參拾錢 東海 廣 電配三六六三番 東海 廣 電配三六六三番

薬及

治療

醫院花店

電話

一升三十五錢

写真 大連寶質館費を撮影男女 電話所の関節に限る 前田宮政館館とい 一一(ハヨイイ)

ルク製造販賣 薬瓶飲料瓶 大連市都會町五四 大連市都會町五四 中七九七七番

確正

5。此の四月からは新たに下藤小 てあるのですか) てあるのですか、先づ近所の子供の通繁 かるますが、先づ近所の子供の通繁 かるますが、先づ近所の子供の通繁 かんしているのですか) C通摩區域はどんな風にきまつ 南山麓の女子高等科が 聖徳校に

ナッタルテストを行ふ感校もありま ま 摩校も出来ることであり、各小學校も天々摩級の増減があるので今校も天々摩級の増減があるので今校も天々摩級の増減があるので今校も天々摩級の増減があるので今校も天々摩級の増減があるので今校も天々摩級の増減が整度されることになるでせらっ下藤小摩校に入とになるでせらっ下藤小摩校に入まります。

カ大山通 小林又七支店

大黒町四四 四大黒町四四 四大黒町四四

の御用命は

製造元タイゲン洋行製造元タイゲン洋行

実確

師削藥



櫻鮓

常盤橋櫻すしお壽司の御用さ

牛乳

壽司 は常盤橋の歌す

五三六七八

オは何でも大独強 ・ヤマ防會 電話八七二二番 部分品は格安實用品 が造る病品品権修理 は一回五拾錢

滿洲牧場

電六一三四

ラヂ

門札 瀬戸物へ彫り込み

急庫 間宮式 手提金庫 問宮式 手提金庫

牛乳 大連牛乳株式會社電話四五三七番

中勢町八九電七七十二 月 日露洋行 日露洋行 日露洋行 日 日露洋行 大山通 邦文默文タイプライター 印

トヤマ商會 電八七二二番 高真の御用は迅速で現 高真の御用は迅速で現 関な日本機高眞館へ書 高話ニー五九八番へ 物タクシー 八九〇旦

ラデオは何でも 九八番へ

毛皮鞣、染色、 大學北灣子三 大學北灣子三

取扱

100元 生花環境・土 花環域・土 花環域・

灸 淡尿器科 皮属梅毒

五球 ニュトロダイン 所屬品付百五圓より百五十圓迄 対 高が近五0人 大五圓迄 り百五十圓迄 一九九、一二一貳圓

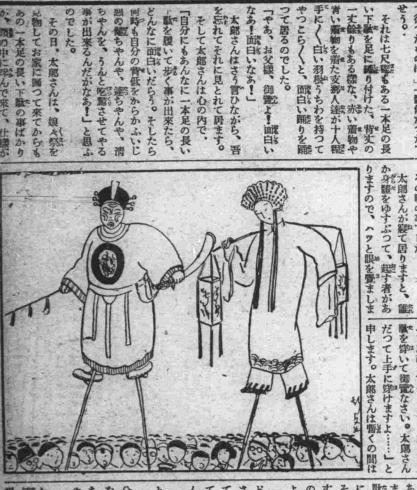
早川 商 語 三 九 七一 電 話 三 九 七一 電 話 三 九 七一 電 話 三 九 七一 電 話

ホネウ 尚德館

二八町濃信市連大

9 間 各

喉咽 **西**



「さあ趣きて外に出て、此の高下 だつて上手に穿けますよ……」と だつて上手に穿けますよ……」と しながら林元に立つて居るのでし い 着物を着た支那人が、あの一本すと、今日晝間、娘々祭で見た赤 ひました。そして、立つて見ると あゝら不思議、何と奇妙ではあり ませんか。その七尺型もある高下 ませんか。その七尺型もある高下 に地蔵に立つ事が出來たのです。 そして、急に太郎さんの背方が一 中信半疑で、じつと支那人の奏を ・ 見詰めて居りましたが、やがて恐 ・ が超き上つて、外に出て赤い着物 ・ を潜たその支那人に、その長い高 大位に伸びましたので、太郎さん 大位に伸びましたので、太郎さん の頭はお家の屋根の庇の上に、に よき――つ、と出ました。 「やあ、やあ、これは不思義だぞ どれーつ歩いて見やらか?」太郎 さんはさう言ひながら、恐々歩い さんはさう言ひながら、恐々歩い て見ますと、易々と歩く事が出來 と有頭天になってもなりましたで、脚ちやんや、迷ちやんや、清ちやんや、満ちやんや、清ちやんで、清ななで驚させ、かって見度くなりました。 と有底天になって叫びました。 と有底天になって叫びました。 と有底天になって叫びました。

が、高さが高い」と異をうごめかします。何と云つても比観で、ありません。何でも世界一をਇる米人は「アメリカ器は幅は狭い後者は幅は膨くて二五五〇呎もありますが、高さメ

不用 報参上電話四三 平用 品と古本親切高 不用

が深です。前者は幅は一○○○呎程ですが、高さ幅三四丁のゴート島を中央にして、左がアメリ 世界一の ナイヤガラ瀑布 カ漂、右がカナ

0 阿左見福馬 即

古本 御拂下の節は何卒御用命 西通常艦橋際千山閣電四三六二 西通常艦橋際千山閣電四三六二 大谷商店 大谷商店 大谷商店 電話。電話、電影便利 パテートカ 市談 電三八四五番 電三八四五番 モミ療治御好みの方は

性器丸炎 鍼灸 電話三〇四九番

鈴木丈太郎 電話四六九二番 den

貸衣 袋婚禮用 日藤町高老や

日産町たじまや電大六〇一番買入御報会上 面

高貴香料を配合 〇四七 石井家畜病 中央公園や留所前 中央公園や留所前 中央公園や留所前 御装ひになくてはならいものせる本品のよい薫りは新春の 御座います。 4 小版 0.50 中版 1.00 大版 2.00 特大版 4.00

洋服頻電 送 送 旁藥局 大連唯一の 大連唯一の

事門のヤナギャへ 本頭漫画デバート内

御一報次第參上致

致します

電話二六〇四紀の國屋的文化 流質品中賣。 低利金融 前司公記政 地番工 1 連部监 **農方調剂** 洋堂堂 藥剂師·友田莞爾 電話.6243 養 大建信濃町市場正門前

仮庸病 大連市美濃町二大連市美濃町二大連市美濃町二大連市美濃町二大地圏編呈

E 場 ルトクド

野中醫院 ででは、一大連市市野町ニ五大連市市野町ニ五 性病輸品消疾 **池圓明** 會。一九四話電

5 柴田時計店 ゴルフバック 鳥属ケー 7 銃 語三五二番 > 台 店

間中場廣西·橋盧常·通西連大 番八二五七話電

三三話電 出の三 E



てに園公央中

四大門署で擧ぐ

不穩學生は强制處分

窃盗、詐欺で收容さる

爵の四男

松田関東、高等警察、有田同保安に十十年から二週間の豫定で滿鏡に十六、七日金州、普の野地・歌等に向ふと

騎馬隊も遂に出動

生は全部今日 城到済野では野生屋城市件が起る 東門、同女 いっぱんの 東門、同女子高普里生の版ったが、京城田本との版のである、架画女子、東門、同女子高普里生の版のたが、京城四大門野 戦争を加速した。京城四大門野 大利に武装の製品版を以て包囲して、京城四大門野 大利に武装の製品版を以て包囲して、京城四大門野 大利に武装の製品版を以て包囲して、京城四大門野 大利に武装の製品版を以て包囲して、京城到市が出る。

● 「東京十五日愛電」元朝鮮桃監が 働いたこと愛歌したゝめである
 ● 「東京十五日愛電」元朝鮮桃監が 働いたこと愛歌したゝめである

手、浸間の二盤を第三豫備艦に編

野村吉三郎

練習艦隊編成解除

正訳 本紙十六日夕刊掲載大 物学ディハンストーブ抽籤慣告 中四等三六三三は(三六三五)六 等三一五六は(三一三六)一四八 六は(一四八九)七章三一〇六は 一四八九)七章三一〇六は

『京城十五日發電』約年歳に亘り

(富山十五日愛電) 立山劔澤小屋

野生百餘名は野婆部留置場に移し ・ の極めて僅少で殆ど全部が騒慢 ・ の極めて僅少で殆ど全部が騒慢 ・ の極めて僅少で殆ど全部が騒慢

たが十五日正午までは市内も平線を関れ警戒してるる

祭部は時を移さず特別警戒を爲

且

澤

益々深刻化す

り錢詐欺

更に四百六十八名を擧ぐ

遺留品發見

大田事件

入算

りかひの

十銭を買求め、百圓紙館で仕搬ふ」より目下大連魁で恋人蹴ば中際三郎方に到り男物羽織三十九團」より逃走行方を聴ました。訴へに後三時ごろ但馬町十七吳服商鈴木を受け取り。「立待つてをれと寒口藤本輝峰へ」しといふは、十五日午 店員から羽織と刺銭六十圓九十銭藤本輝峰へ」しといふは、十五日午 店員から羽織と刺銭六十圓九十銭

滿洲短歌』

來る十九日

五月四(新曲)吉原雀

吳服商一ばい喰ふ

館に止宿の男が

を は 床 大氏の 率ゆる 政友本 は 床 大氏の 率ゆる 政友本

朝鮮疑獄の

剣澤附近で

小橋氏の處斷

愈る今明日中決定か

後零時半専門 1覧・11の後の

憲立中等既校はそれと、志器校覧、月一日、二日、女學校は二月二十の等であるが、既親の如く本年はと、なり、大監に於て中學校は三試驗は近く關東職報を以つて發表。で從來に比し期日を多少輩らすこ と、 と、 と、 なり、 大監に於て中學校は三試験は近く関東職報を以つて發表。で從來に比し期日を多少輩らすこと、

不穩文書を

を附続決定したが、明年度後第総 ・特である ・特である

日来族、軍司会部、関東艦を制制 地では、軍司会部、関東艦を制制 につきそれが、ア解を求むるとこ うあつた

地影四十六, 過西市連大 間中, 通車電場太西精盤常 當二五七六話電

大邱で撒布

た三百餘名の

八學生殆ど起

『京城十五日發電』十四日深東大 四師範壁校及び公立高等普通學校 女を郵送した者あり、慶尚北道響、 女を郵送した者あり、慶尚北道響、

関し朝鮮における眼校騒動に関す

騒擾狀況報告

童子軍教練員

騒擾罪または治安法を適用處分

一時間にして屬宅を詫された。一時間にして屬宅を詫されたが一郎氏も同事件の人をして本日午前九時繳事局が一部氏も同事件のの「一時間にして屬宅を詫された。」

り小棚氏の魔體も急速に何れかにで直に歸宅を許された。これによ

が徐底に掠はれてゐれば萬年等にを概へてゐる、而して萬一死際

入學考查試驗

博 漢 戸

正

久 造 史 步 氏 氏

堂」は、近く朝歌紙上に懈まし

芳はしき感情的鑑奇の鑑配を出現し來るで の塊間合格。正史氏の制拔精酸、凝つて浮。 者奉仕の努力は完全に続いられた。観歩氏

施行期日ほぶ決定す

う。倘今朝來富した土民

れたとの事だが何れも必然人程度この外に一名政友會代議士召喚さ

B

一般事局に召喚さ

がこれにより小艦氏に動する魔獣がこれにより小艦氏に動する魔獣

際これを驚響として使つた(當 東東脚氏より二萬圓を收受せ たのは小概前文相が越後續道の たのは小概前文相が越後續道の

のと見らる」に至った

するといふ意気込み方である。 倫 変形にては同會社が町の發展上 有利なものとすれば極力その質現 屋のために援助する方針で、いよ 町入合りの能更大大田事件)は十五日歌門にては同館社が町の發展上り戦弾中である。間京教育を設定を見ることものとすれば極力その貿別、尾間立脈、従野萬澄、大村百蔵等利なものとすれば極力その貿別、尾間立脈、従野萬澄、大村百蔵等人十六日午後一時より淡月に、海性、心臓・大田事件)は十五日歌一个十六日午後一時より淡月に、海性、心臓・大田事件)は十五日歌一次に変更の

東京府下遊谷北谷四六前朝鮮總

水盃を取交 搜索隊、剣澤にむかふ

に於ける土息 はあらゆる點より綜合工

り山岳家、スキー家等来縣し死體が をし、山鳴と共に大陸風が巻き をり、山鳴と共に大陸風が巻き でたものと見られてゐる、なほ遭 でたものと見られてゐる、なほ遭 でたものと見られてゐる、なほ遭 では、山鳴と共に大陸風が巻き 旅大中等學校

床次氏召喚さる

人とし

小橋前文相の事件で

愈よ遭難現場の發掘に着手

城 山龍山山峰海山櫻濱龍 朝常錦和吉信星山饗常 京都野夫 で花洋島山山甲錦川島

たのである。

等の塊もれてゐた魔埃を搬つて、此處に『維新革命』磯史を、公明なる陽光に曝

りの稿を聴す理由と興味とは存するのだ(起稿の朝)

耐村氏の後を受けた「新青年」際総職者一般歩氏は探偵小説界の獅王。 正史氏は森下

れが驚異以外の何ものであらう?我社の歌

はゞ市井のどん底に潜居し、夜の闇黒に悪の難を咲かせて居つたこと、気つてその種様に見つて力あつ、精神を喚起し、且つその人心動揺を企圖して、革命時代の揺來に努めた者、即ち、無名の浪士、最賊、女

て見たく思ふっ

作者の言葉

はない。

伊

藤

雄

總

脂治世三百年、豪

素不の夢をまどろむでるた大江戸の

で競見したとの報があ

生

我社が満洲の文運に資し、讀者諸賢の眷籠に酬ゆべく、常に我社が満洲の文運に資し、讀者諸賢の眷籠に酬ゆべく、常に我社の心意を担め、即ち現に三上於東吉ところであるが、左の豫告によって、我社の微衷を披瀝、近の心意ともは、既に各位の諒せららに花を添へんとするものである。

日本

8

原東の王

キリアー

*

國の極上

着荷新

キングサフキング

四〇年、七〇年

東京風菓子謹製

艶・肚快、懐愴、憂惑、幾多の麒飾場面を 展開し来つて、讀者の心魂を驚擂し去るを疑進麗刺の才人が、凝緊華壓、生氣驟虧する 艶致の妙は、恥様の斬新経奇と相俟つて、好熟狂的戰呼に戲離した 我此は、矢驟畔に上記の創作を提供する。東都文壇に離飛する新外刊連載の『平安異香』は愈々近く大鷹圓を告げる、讀者諸君の殆ど 祭前とも云ふべき 原塚龜太郎氏

界各國酒類

食

料

00

御婦人御子供オーバ、洋服、スエ

ター、毛糸、子供ヱプロン

通山大町城磐

他附屬品

一第用信 舗本滿南ブッハスパ〇一六 話九六四六

> 慶弔 用花環部新設

御用命下さる様御願いたします物何を勤めさせて頂きたいと存じますな何はれたします。

會

場本面

一稀鑑常

炭市內配達共一噸十四圓 公司

X外內 光科、小兒科 院應需 近 藤 院慶需 近 藤 大連市三河町四 大連市三河町四 大連市三河町四 光科科

咽

醫田 一四五話電

春の衣裳と 貴金屬類の 連大(節通西) 町城磐

帳

長明演奏會は十九日午後六時かの長頭演奏會は十九日午後六時かの長頭演奏會は十九日午後六時からヤマトホテルに開催、今回は殊らヤマトホテルに開催、今回は殊

世山光

\$

瀟洒な金銀白金細工

に限り、どうぞ十五分ほどお話を のですが――特別にお萱安へがな お部屋へお飛騰いたしたいと思ふ がな

満日俳壇

何故のミッワ石鹼は

橋以上も永保するお徳用さです。 ・本は温雅樹すべく、使心地の宜 ・本には決して溶けながら而も ・なにさへ快く溶けながら而も ・なに溶がす、中途に溶 ・なに溶がするお徳用さです。

徳用さです

冬の月

世來るやうな就合でないのです。
の男ですから從つて見世先でお話

今が着手の好時機

文艺

となる

と、藤田もどうにかして御笑して見せやうとしながら言つた。 「あなた方のお仲間と來たら、實「あなた方のお仲間と來たら、實

を、「おりと吐腕をつかれた――」と、「おりと吐腕をつかれた――」と、「おりと吐腕をつかれた――」と、「おりと吐腕をつかれた――」と、「おりと吐腕をつかれた――」よく知つておゐでょしやられという。 質問 はいよく、やつて來たな! てしまいました。勿論、あなたもと、「おりと吐腕をつかれた――」よく知つておゐでょしやらが――」と、「おりと吐腕をつかれた――」よく知つておゐでょしやられると、からし の馬韓國(大原利武)朝鮮事業界の馬韓國(大原利武)朝鮮の子の後裔

刊紹介色

一版はしき訪客(三) 店には殿つぼい監襟の洋般を着 店には殿つぼい監襟の洋般を着

「僕が藤田ですが――」 と、彼はその男をぢつとみつめ ながら言つた。 らな紙片を藤田に渡した。粗末な出して、その間から縄長い鴻つべ出して、その間から縄長い鴻つべ

をまでは分ってあたのですが、そ とまでは分つてあたのですが、そ とまでは分つてあたのですが、そ とまでは分つてあたのですが、そ で、のお邪魔で相すみません」 と、言つたが、急に何となくソンザイな口臓になって、

の代表石鹼

る國

上於克吉

(14)

(A)

◎ミツワ石鹼は 良いでせうか?

其後のないらです。これでするからです。これでするからです。これでは、 最上の をおしつどりと爽かに成ります。 を石鹼分を残しませんから、皮 を石鹼分を残しませんから、皮 を石鹼分を残しませんから、皮 を石鹼分を残しませんから、皮 を石鹼分を残しませんから、皮 を石鹼分を残しませんから、皮

續いて國外市場にも 舶來石鹼 0 防遏に 成功 活躍

不 斷

の研究に依る其品質の向上

●科學的經營に據る其價格の低廉

屋見丸 0 京 東



















A COLUMN		0.071	17 JUL 101	-
沙河口出援所 東萊洋行为 (電話化大山通出援所)(電話七〇三四番)	ピユーロト	ジャパン、ツーリスト、大連市伊勢町	信濃町遼東ホテル内電七五七四番	请 満州旅館協會

同 朝鲜郵船 強山帆

大阪商船 大海 海 万 武昌丸 一年後三時出帆 世州丸丸 一河南丸 二河南丸 二河南丸 二

● 基隆高維行 清 大阪 玄 所 支 医肠囊

州浦浦武浦浦武 丸丸丸丸丸丸丸

歌州行[豊橋 丸戸五漢堡行 11日本郵船出机 公門會 大神^四 行戶司

北海道 行 長成丸 全島谷汽

至三年

豐廣新純泰公有成永年 利利利利利利利利利利 酸臟號號號號號號號號號